

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団



## 平成27年度事業報告書目次

|                      | ページ   |    |
|----------------------|-------|----|
| 1. 概況                | ----- | 1  |
| 2. 職員                | ----- | 4  |
| 3. 組織                | ----- | 6  |
| 4. 役員等               | ----- | 7  |
| 5. 会議等               | ----- | 8  |
| 6. 研修                | ----- | 10 |
| 7. 苦情解決処理状況          | ----- | 11 |
| 8. 施設別事業実施の概要と評価     |       |    |
| (1) 秋田県北部老人福祉総合エリア   | ----- | 12 |
| (2) 秋田県中央地区老人福祉総合エリア | ----- | 15 |
| (3) 秋田県南部老人福祉総合エリア   | ----- | 18 |
| (4) 秋田県高清水園          | ----- | 26 |
| (5) 秋田県心身障害者コロニー     | ----- | 31 |
| (6) 地域生活支援センターみずばやし  | ----- | 36 |
| (7) 秋田県阿桜園           | ----- | 40 |
| (8) やまばと園            | ----- | 45 |
| (9) 秋田県身体障害者更生訓練センター | ----- | 49 |
| (10) 秋田県点字図書館        | ----- | 54 |



## 1. 概 況

### (1) 県有福祉施設等の運営

#### ① 指定管理施設

秋田県の指定管理施設（北部・中央・南部老人福祉総合エリア、点字図書館等）の適正な運営に努めるとともに、第三期（平成28年度～平成32年度）指定管理について、同施設の指定管理者として申請を行い、指定を受けた。

また、横手市（横手市大森町生きがい創作館）、湯沢雄勝広域市町村圏組合（やまばと園）の各指定管理施設については、第三期（平成26年度～30年度）指定管理者として、適正な運営に努めた。

#### ② 県有施設の譲与及び貸付

平成27年度まで無償貸付を受けていた施設について、平成28年度以降の運営形態等について県との協議を進めた結果、次のとおり決定した。

- ・ 高清水園、阿桜園は平成28年度から譲与を受ける
- ・ 心身障害者コロニー、南部老人福祉総合エリア養護老人ホーム及び軽費老人ホームは無償貸付を5年間（平成28年度～平成32年度）継続する
- ・ 身体障害者更生訓練センターは3年間（平成28年度～平成30年度）無償貸付を継続する

#### ③ 施設の維持管理等

施設設備の修繕等を計画的に行うとともに、緊急を要するものについては随時実施し、サービスを利用する方が安全かつ快適に過ごすことができるよう各種維持管理に係る工事を行った。

また、コロニー及び点字図書館の空調設備改修、南部エリア屋内プール屋根等防水修繕について、県による大規模修繕工事が実施された。

### (2) 質の高いサービスの提供

#### ① サービスの充実

障害福祉施設において、職員の増員及び専門職員の配置による支援体制の強化を図るとともに、サービス管理責任者のもと、個別支援計画の作成やモニタリング等を実施し、利用者支援の充実に努めた。

高清水園では、スヌーズレンルームを新たに整備し、サービス提供体制の充実に図った。

コロニー、阿桜園では、職員の増員による支援体制の強化を図るとともに、コロニーにおいては日中活動の通所利用促進を行い、阿桜園においては放課後等デイサービスを実施することにより、居宅支援の充実に図った。

また、共同生活援助事業所においては、地域で安全に、安心して生活できるようハード面、ソフト面における体制を充実させた。

#### ② まごころシステムの推進

ISO9001に準じた当事業団独自の「ハイクオリティサービス推進システム」（通称「まごころシステム」）について、「虐待防止マニュアル」や「障害福祉施設に係る自己評価整理票」において内容改善を図り、システムの継続的改善（PDCA）を推進し、より良い福祉サービスの提供に努めた。

### ③ 強度行動障害の支援

強度行動障害支援に関する検討委員会においては、「支援の手引き」を作成したほか、強度行動障害に対する支援アドバイザーを配置し、職員への研修の実施や具体的な支援について各施設を巡回して職員と協議を行うことにより、強度行動障害を有する障がい児・者への支援の充実を図った。

## (3) 経営改善への取組

### ① 新たな経営計画の策定

平成23年3月策定、平成24年8月に一部改訂した5カ年（平成23年度～平成27年度）経営改善計画に基づき、目標値を設けて取り組んだ。また、自立経営の確立に向け、今後5年間の事業団経営の指針となる新たな5カ年経営計画（平成28年度～平成32年度）を策定した。

### ② 自主事業の取組

由利本荘地域における在宅支援の拠点となる「由利本荘地域生活支援センター」について、平成28年4月事業開始に向け整備を行った。

地域密着型サービス外部評価事業について、43の事業所を対象に調査員各2名を派遣し、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）等の評価を実施した。

南部エリアでは、軽費老人ホームにおいて特定施設入居者生活介護事業を新たに開始することで、食事や入浴などの日常生活上の支援を行う体制を構築し、居宅介護支援事業においては、入居者や地域の利用登録者を対象とした個別支援計画の作成や、市町村からの依頼による介護認定の訪問調査を実施した。

| 事業名             | 平成27年度利用状況(人数) | 平成26年度利用状況(人数) |
|-----------------|----------------|----------------|
| 地域密着型サービス外部評価事業 | 43件            | 65件            |
| 居宅介護支援事業        | 772人           | 806人           |
| 訪問介護事業          | 7,777人         | 8,075人         |
| 共同生活援助事業 [定員]   | 178人 (37棟)     | 174人 (36棟)     |

### ③ 老人福祉総合エリアの利用促進

北部、中央、南部3エリアが協同して県内外への営業活動を行うとともに、各地域において広報活動を展開し利用者の増加に努めた。

北部エリアでは、子ども縁日や利用料割引を行うことにより、利用者が気軽に、楽しく利用していただけるよう努めた。

中央エリアでは、プール天井工事に伴う営業休止の期間があったが、スポーツ団体向けのパンフレット作成など営業活動に努めた結果、利用者数が増加した。

南部エリアでは、世代間交流事業において開催する教室の内容を工夫し、利用者の増加に努めた。

## (4) 人材の育成及び社会貢献

### ① 研修体系の充実

研修実施計画に基づき、外部研修への積極的に参加するとともに、法人研修においては「人事労務管理研修」や「障害者虐待防止・権利擁護研修」等を実施したほか、県から「障害者虐待防止・権利擁護研修」及び「強度行動障害支援者養

成研修」を受託し、人材育成と職員の資質の一層の向上を図った。

平成24年度から試行的に実施している人事考課については、対象職員を准職員まで広げ、制度の理解と浸透を図りながら実施した。

## ② 職員採用

正職員の年齢構成の平準化とキャリア育成を見据えた職員採用計画に基づき、県出資法人職員共同採用試験を実施し、福祉職10名、専門職2名（看護師、栄養士）を平成28年4月1日付けで採用した。

## ③ 社会貢献

福島県相双地域等への介護職員の応援事業に登録し、福島県内の特別養護老人ホームに1名の職員を1年間派遣した。

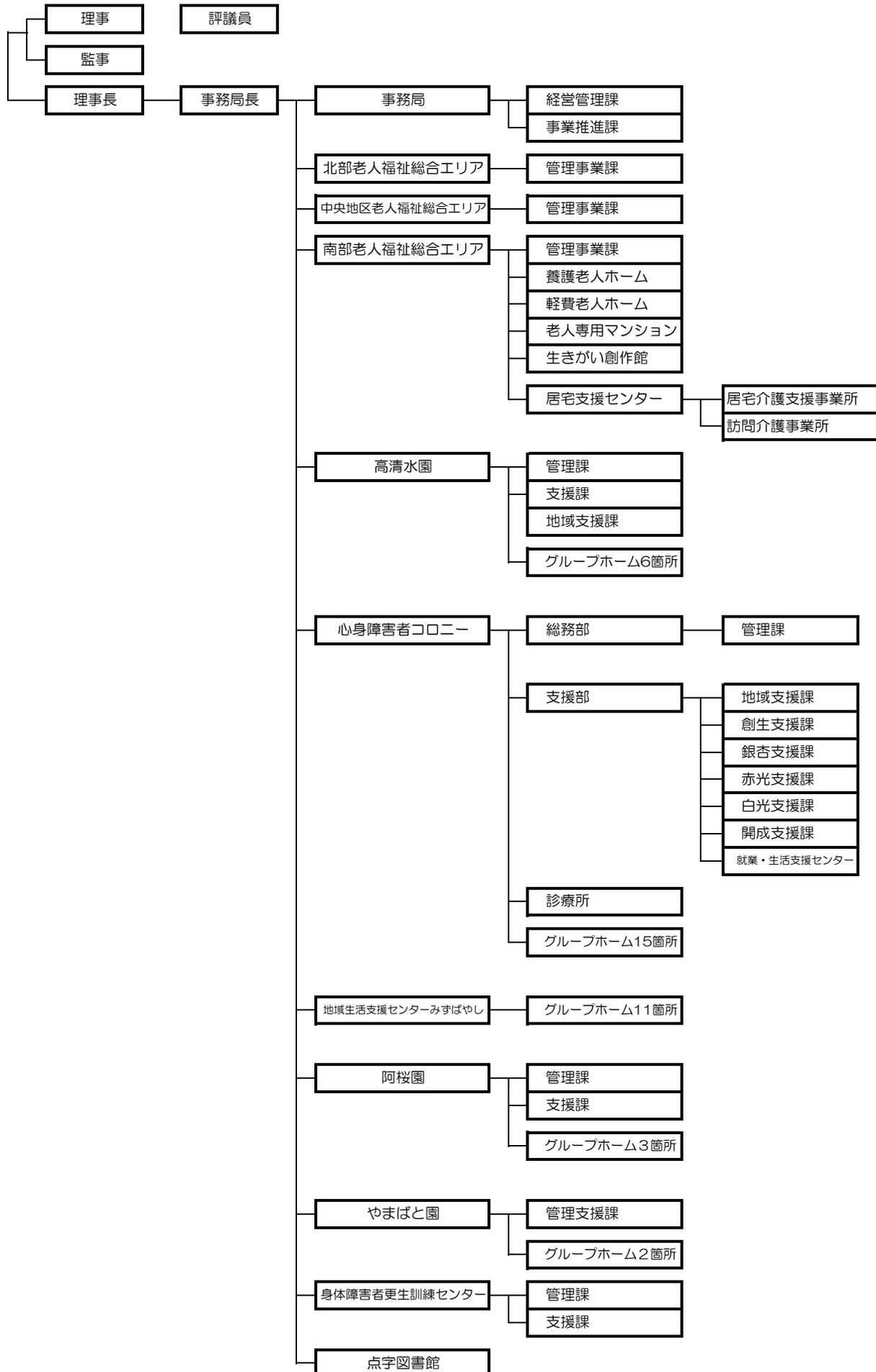
高清水園、コロニー、阿桜園、やまばと園の4施設においては、各地域のニーズを踏まえ、障がい者の社会活動への参加、余暇活動への支援などの公益的な活動を企画、実施した。

また、法人として初めて一般公開講座を開催するとともに、職員実践発表会を併せて実施した。



### 3. 組織

平成28年3月31日現在



施設一覽

平成28年3月31日現在

| 施設名              | 施設種別                  | 所在地                   |              | 定員(人)   |
|------------------|-----------------------|-----------------------|--------------|---------|
| 秋田県北部老人福祉総合エリア   | 利用施設                  | 大館市十二所字平内新田237-1      | H11. 8. 1    | 宿泊定員 50 |
| 秋田県中央地区老人福祉総合エリア | 利用施設                  | 秋田市御所野下堤5丁目1-1        | H 9. 8. 1    | 宿泊定員116 |
| 秋田県南部老人福祉総合エリア   |                       |                       | S63. 7. 1    |         |
| コミュニティセンター       | 利用施設                  | 横手市大森町字菅生田245-34      | (S63. 7. 1)  | 宿泊定員 58 |
| 養護老人ホーム          | 老人福祉施設                |                       | (H 1. 2. 1)  | 50      |
| 軽費老人ホーム          | 老人福祉施設                |                       | (H 2. 7. 1)  | 50      |
| 老人専用マンション        | 利用施設                  |                       | (H 3.10. 1)  | 24      |
| 横手市大森町生きがい創作館    | 利用施設                  |                       | (S64. 1. 4)  | —       |
| 指定居宅介護支援事業所      | 介護サービス事業所             |                       | (H 18. 4. 1) | —       |
| 指定訪問介護事業所        | 介護サービス事業所             |                       | (H 18. 4. 1) | —       |
| 秋田県高清水園          | 障害者支援施設<br>福祉型障害児入所施設 | 秋田市上北手猿田字苗代沢14-1      | H 9. 4. 1    | 60      |
|                  |                       |                       | H 9. 4. 1    | 40      |
| グループホーム「結」       | 共同生活援助(グループホーム)       | 秋田市広面字小沼古川端31-7       | H14.10.1     | 4       |
| グループホーム「みのり」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 秋田市広面字小沼古川端31-8       | H16.11.1     | 4       |
| グループホーム「さくら」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 秋田市広面字碓21-9           | H18.5.1      | 5       |
| グループホーム「あおぞら」    | 共同生活援助(グループホーム)       | 秋田市上北手百崎字境田30         | H20.4.1      | 6       |
| グループホーム「彩」       | 共同生活援助(グループホーム)       | 秋田市広面鍋沼57-8           | H21.4.1      | 4       |
| グループホーム「こまち」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 秋田市仁井田二ツ屋二丁目12番42号    | H25.10.1     | 6       |
| 秋田県心身障害者コロニー     |                       |                       | S46. 4. 1    |         |
| 創生支援課            | 障害者支援施設               | 由利本荘市西目町出戸字孫七山3-2     | (S46. 5. 1)  | 100     |
| 银杏支援課            | 障害者支援施設               |                       | (S47. 4. 1)  | 100     |
| 赤光支援課            | 障害者支援施設               |                       | (S48. 5. 1)  | 100     |
| 白光支援課            | 障害者支援施設               |                       | (S49. 1. 1)  | 100     |
| 開成支援課            | 障害者支援施設               |                       | (S49. 6. 1)  | 50      |
| 開成支援課            | 障害者支援施設               |                       | (S49. 6. 1)  | 50      |
| 診療所              | 診療所                   |                       | (S49. 6. 1)  | —       |
| グループホーム「わかまつ」    | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町沼田字新道下679-8   | H11.10. 1    | 6       |
| グループホーム「やすらぎ」    | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町出戸字浜山3-183    | H12.10.1     | 6       |
| グループホーム「そよかぜ」    | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町沼田字新道下2-92    | H13.10.1     | 4       |
| グループホーム「わかば」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町沼田字西潟346-14   | H16.2.1      | 4       |
| グループホーム「はまなす」    | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町沼田字新道下2-697   | H17.4.1      | 4       |
| グループホーム「まつかぜ」    | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町沼田字新道下2-415   | H21.11.1     | 6       |
| グループホーム「しおさい」    | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町出戸字浜山3-119    | H23.4.1      | 5       |
| グループホーム「あおぞら」    | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町沼田字西潟315-4    | H13.10.1     | 4       |
| グループホーム「お月森」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町海士剥字海士剥下52-48 | H16.4.1      | 5       |
| グループホーム「ひだまり」    | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町海士剥字海士剥下57-1  | H16.4.1      | 5       |
| グループホーム「やまと」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町沼田新道下744-7    | H24.1.1      | 4       |
| グループホーム「なでしこA」   | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町海士剥字海士剥57-1   | H24.1.1      | 4       |
| グループホーム「なでしこB」   | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町海士剥字海士剥57-1   | H24.1.1      | 5       |
| グループホーム「かもめ」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町出戸字浜山3-223    | H24.9.1      | 5       |
| グループホーム「はまやま」    | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市西目町出戸字浜山3-261    | H25.3.1      | 5       |
| 地域生活支援センターみずばやし  | 障害福祉サービス事業所           | 由利本荘市調練場1-1           | H24.1.1      | 30      |
| グループホーム「翼」       | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市薬師堂字山崎145-7      | H 2. 4. 1    | 4       |
| グループホーム「清和」      | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市石脇字田尻野31-8       | H 4. 4. 1    | 5       |
| グループホーム「めぐみ」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市水林402-22         | H 7. 4. 1    | 5       |
| グループホーム「虹」       | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市石脇字田尻28-20       | H23.7.1      | 4       |
| グループホーム「そら」      | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市御門1番地2           | H23.12.1     | 5       |
| グループホーム「三愛A」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市薬師堂字二本木44-2      | H13.10.1     | 5       |
| グループホーム「三愛B」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市薬師堂字二本木44-2      | H13.10.1     | 5       |
| グループホーム「菖蒲」      | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市給人町70-5          | H 9.10. 1    | 5       |
| グループホーム「若菜」      | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市水林365            | H12.10.1     | 5       |
| グループホーム「御門A」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市御門261-1          | H28.3.1      | 5       |
| グループホーム「御門B」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 由利本荘市御門261-1          | H28.3.1      | 5       |
| 秋田県阿桜園           | 障害者支援施設<br>福祉型障害児入所施設 | 横手市赤坂字仁坂105           | H 2. 4. 1    | 70      |
|                  |                       |                       | S39.4.25     | 50      |
| グループホーム「希望」      | 共同生活援助(グループホーム)       | 横手市婦気大堤字谷地添51-1       | H 6. 4. 1    | 5       |
| グループホーム「あさひ」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 横手市朝日が丘3丁目4-1         | H16.1.15     | 4       |
| グループホーム「あざみ」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 横手市婦気大堤字平林1-104       | H23.4.1      | 5       |
| 湯沢雄勝広域市町村圏組合     | 障害者支援施設               | 湯沢市三梨町字飯田二ツ森43        | H15.4.1      | 50      |
| やまばと園            | 福祉型障害児入所施設            |                       | (S49.10. 1)  | 10      |
| グループホーム「ぼってりー」   | 共同生活援助(グループホーム)       |                       | H 21. 4. 1   | 5       |
| グループホーム「のどか」     | 共同生活援助(グループホーム)       | 湯沢市荒町7-2              | H 23. 4. 1   | 5       |
| 秋田県身体障害者更生訓練センター | 障害者支援施設               | 秋田市新屋下川原町2-3          | S55. 7. 1    | 60      |
| 秋田県点字図書館         | 視聴覚障害者<br>情報提供施設      | 秋田市土崎港南3丁目2-58        | S60. 4. 1    | —       |

## 4. 役員等

(平成28年3月31日現在)

### (1) 役員

| 役職名 | 氏名    | 現(元)職名               |
|-----|-------|----------------------|
| 理事長 | 武田哲也  | 元秋田県秋田地域振興局長         |
| 理事  | 柴田一宏  | 柴田一宏法律事務所長           |
| 理事  | 太田春海  | 秋田県民生児童委員協議会会長       |
| 理事  | 高橋美岐子 | 日本赤十字秋田短期大学学務部長      |
| 理事  | 佐々木 繁 | 社会福祉法人秋田県社会福祉協議会常務理事 |
| 理事  | 進藤英樹  | 秋田県健康福祉部長            |
| 理事  | 三浦 洋  | 秋田県心身障害者コロニー管理者      |
| 監事  | 前田正人  | 前田公認会計士事務所長          |
| 監事  | 田中政博  | 元秋田市財政部長             |

### (2) 評議員

| 役職名 | 氏名   | 現(元)職名                            |
|-----|------|-----------------------------------|
| 評議員 | 遠藤博之 | 秋田県立療育機構理事長                       |
| 評議員 | 仲村盛吉 | 秋田県老人クラブ連合会会長                     |
| 評議員 | 伊藤英紀 | 秋田県身体障害者福祉協会会長                    |
| 評議員 | 谷内和夫 | 秋田県手をつなぐ育成会会長                     |
| 評議員 | 田沼昭男 | 秋田県社会福祉法人経営者協議会会長                 |
| 評議員 | 高島幹子 | 秋田県看護協会会長                         |
| 評議員 | 和田士郎 | 秋田県社会福祉士会会長                       |
| 評議員 | 柴田 博 | 秋田看護福祉大学福祉学科教授                    |
| 評議員 | 藤本和宏 | 横手市副市長                            |
| 評議員 | 石川 裕 | 由利本荘市副市長                          |
| 評議員 | 渡辺久子 | 社会福祉法人秋田けやき会<br>ケアハウスウエルハウス御所野施設長 |
| 評議員 | 進藤忠雄 | 秋田県高等学校長協会特別支援学校部会長               |
| 評議員 | 成田公哉 | 秋田県健康福祉部福祉政策課長                    |
| 評議員 | 神谷長一 | 秋田県阿桜園保護者会会長                      |
| 評議員 | 熊谷公彦 | 秋田県高清水園園長                         |

## 5. 会議等

### (1) 評議員会

| 開催年月日       | 会場等               | 付議事項  | てん末  |
|-------------|-------------------|---|--|
| 平成27年 5月22日 | 中央地区老人福祉総合エリア視聴覚室 | 1 平成26年度事業報告及び決算について<br>2 秋田県社会福祉事業団給与規則の一部改正について<br>3 秋田県社会福祉事業団准職員就業規則の一部改正について<br>4 秋田県社会福祉事業団会計規則の一部改正について<br>5 平成27年度補正予算(案)について<br>6 役員の選任について  | 了承<br>了承<br>了承<br>了承<br>了承<br>了承                               |
| 平成27年 8月19日 | 中央地区老人福祉総合エリア視聴覚室 | 1 県有施設の指定管理者への応募について  | 了承   |
| 平成27年12月11日 | 中央地区老人福祉総合エリア研修室  | 1 秋田県社会福祉事業団給与規則の一部改正について<br>2 秋田県社会福祉事業団特定個人情報取扱規程(案)について  | 了承<br>了承   |
| 平成28年 3月15日 | 中央地区老人福祉総合エリア研修室  | 1 秋田県社会福祉事業団定款の一部改正について<br>2 秋田県社会福祉事業団組織規則の一部改正について<br>3 秋田県社会福祉事業団公印取扱規則の一部改正について<br>4 秋田県社会福祉事業団文書取扱規則の一部改正について<br>5 秋田県社会福祉事業団職員就業規則の一部改正について<br>6 秋田県社会福祉事業団職員給与規則の一部改正について<br>7 秋田県社会福祉事業団准職員就業規則の一部改正について<br>8 秋田県社会福祉事業団会計規則の一部改正について<br>9 平成27年度補正予算(案)について<br>10 平成28年度事業計画(案)及び当初予算(案)について<br>11 役員の選任について | 了承<br>了承<br>了承<br>了承<br>了承<br>了承<br>了承<br>了承<br>了承<br>了承<br>了承 |

### (2) 理事会

| 開催年月日       | 会場等              | 付議事項  | てん末  |
|-------------|------------------|---|--|
| 平成27年 5月26日 | 中央地区老人福祉総合エリア研修室 | 1 平成26年度事業報告及び決算の認定について<br>2 秋田県社会福祉事業団給与規則の一部改正について<br>3 秋田県社会福祉事業団准職員就業規則の一部改正について<br>4 秋田県社会福祉事業団会計規則の一部改正について<br>5 平成27年度補正予算(案)について<br>6 役員の選任について   | 認定<br>承認<br>承認<br>承認<br>同意<br>同意   |
| 平成27年 8月21日 | 中央地区老人福祉総合エリア研修室 | 1 評議員の選任について<br>2 県有施設の指定管理者への応募について  | 同意<br>承認   |
| 平成27年12月18日 | 中央地区老人福祉総合エリア研修室 | 1 秋田県社会福祉事業団給与規則の一部改正について<br>2 秋田県社会福祉事業団特定個人情報取扱規程(案)について  | 承認<br>承認   |
| 平成28年 3月18日 | 中央地区老人福祉総合エリア研修室 | 1 秋田県社会福祉事業団定款の一部改正について<br>2 秋田県社会福祉事業団組織規則の一部改正について<br>3 秋田県社会福祉事業団公印取扱規則の一部改正について<br>4 秋田県社会福祉事業団文書取扱規則の一部改正について<br>5 秋田県社会福祉事業団職員就業規則の一部改正について<br>6 秋田県社会福祉事業団職員給与規則の一部改正について<br>7 秋田県社会福祉事業団准職員就業規則の一部改正について<br>8 秋田県社会福祉事業団会計規則の一部改正について<br>9 平成27年度補正予算(案)について<br>10 平成28年度事業計画(案)及び当初予算(案)について<br>11 評議員の選任について<br>12 役員の選任について<br>13 施設長の任命について | 承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>同意<br>同意<br>同意<br>承認 |

### (3) 監事の監査

| 開催年月日                | 会場等                  | 付議事項                      |
|----------------------|----------------------|---------------------------|
| 平成27年 5月11日<br>5月12日 | 中央地区老人福祉<br>総合エリア研修室 | 平成26年度事業の執行状況及び収支決算状況について |
| 平成27年11月 9日          | やまばと園                | 平成27年度予算の執行状況について         |

### (4) 施設長会議

| 開催年月日       | 会場等                   | 付議事項  |
|-------------|-----------------------|---|
| 平成27年 4月14日 | 中央地区老人福祉総合エリア<br>研修室  | 1 処遇改善手当基準額の改正及び資格手当の創設に係る補正予算編成について<br>2 その他   |
| 平成27年 5月22日 | 中央地区老人福祉総合エリア<br>視聴覚室 | 1 平成27年度第1回評議員会・第1回理事会議案関係について<br>2 監事監査の指導助言事項等について<br>3 平成27年度予算執行関係について<br>4 次期5カ年経営改善計画(平成28年度～平成32年度)の策定について<br>5 平成27年度各施設重点事項について<br>6 秋田県社会福祉事業団実践発表会の実施について<br>7 平成27年度秋田県社会福祉事業団人事考課(試行)について<br>8 その他                         |
| 平成27年 8月19日 | 中央地区老人福祉総合エリア<br>視聴覚室 | 1 平成27年度第2回評議員会・第2回理事会議案関係について<br>2 支援アドバイザー設置について<br>3 その他   |
| 平成27年12月11日 | 中央地区老人福祉総合エリア<br>研修室  | 1 平成27年度第3回評議員会・第3回理事会議案関係について<br>2 秋田県人事委員会の勧告(平成27年10月14日付け「職員の給与等に関する報告及び勧告」)に係る事業団の対応について<br>3 平成28年度秋田県社会福祉事業団職員採用について<br>4 平成27年度職員提案について<br>5 平成28年度人事異動ヒアリング日程について<br>6 平成27年度地域における公益的な活動(地域貢献)事業実施状況について<br>7 その他             |
| 平成28年 3月15日 | 中央地区老人福祉総合エリア<br>研修室  | 1 平成27年度第4回評議会、第4回理事会議案等について<br>2 平成27年度補正予算・平成28年度当初予算収支差額について<br>3 平成28年度職員研修計画について<br>4 地域における公益的な活動(地域貢献)の取り組みについて<br>5 強度行動障害支援について<br>6 障害者差別解消法について<br>7 障害者雇用の状況について<br>8 女性活躍推進法施行に伴う一般事業主行動計画の策定等について<br>9 辞令交付について<br>10 その他 |

## 6. 研修

### (1) 主な施設内研修

- ・ 新任（中途採用准職員）・転任職員研修
- ・ 接遇研修
- ・ 普通救命講習（AED講習を含む）
- ・ OJT研修（指導者対象を含む）
- ・ 感染症予防研修
- ・ 法令遵守規程研修
- ・ 障害者雇用研修
- ・ 施設見学、施設体験研修
- ・ 3エリア合同視察研修
- ・ 3エリア合同研修（パソコンデザイン、健康管理講座）
- ・ 虐待防止研修
- ・ 自動車スキッド講習
- ・ 安全で正確な与薬の介助について
- ・ 福祉サービスの基礎知識
- ・ 個別支援計画について
- ・ ターミナルケアについて学ぶ
- ・ 障害者グループホーム世話人研修
- ・ 自閉症スペクトラムの理解について
- ・ 不審者対応研修
- ・ 防災機器・福祉車両操作法研修
- ・ 認知症研修
- ・ 権利擁護・成年後見制度研修

### (2) 主な事業団内研修

- ・ 階層別研修Ⅰ（新任職員研修）
- ・ 階層別研修Ⅰ～Ⅵ（人事考課における人材育成について）
- ・ 階層別研修Ⅰ～Ⅵ（人事労務管理研修）
- ・ 能力開発研修Ⅰ～Ⅵ（強度行動障害者支援研修）
- ・ 能力開発研修Ⅰ～Ⅵ（公開講演会及び職員実践発表会）
- ・ 意識改革研修Ⅲ～Ⅴ（障害者虐待防止・権利擁護研修）
- ・ 平成28年4月1日付け新規採用内定者に対する事前研修

### (3) 主な事業団外研修

- ・ 職場研修担当者研修会施設職員コース
- ・ 広報誌講習会
- ・ 社会福祉法人会計に関する研修
- ・ 東北ブロック老人福祉施設協議会
- ・ プール管理責任者並びにプール衛生管理者講習会
- ・ サービス提供責任者実務者研修
- ・ 調理技術研修
- ・ 福祉保健施設・事業者等職員研修（事務・新任・中堅・指導者）
- ・ 全国グループホーム等研修会
- ・ 福祉サービスに関わる苦情解決研修会
- ・ 障害者虐待防止・権利擁護研修
- ・ 相談支援関係者フォローアップ研修
- ・ 東北地区知的障害者福祉協会専門研修会
- ・ ホスピタリティ研修
- ・ 全国地域生活定着支援センター協議会 北海道・東北ブロックセミナー
- ・ 相談支援・就業支援セミナー
- ・ 秋田県自治研修所能力開発研修
- ・ ミュージックケア初級研修
- ・ 強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）
- ・ 第20回アメニティフォーラム
- ・ 障害を理由とする差別の解消に向けた地域フォーラム
- ・ 子どもの貧困を考える県民フォーラム

## 7. 苦情解決処理状況

### (1) 過去5年間における苦情件数の推移

| 年 度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 件 数 | 49     | 39     | 46     | 47     | 20     |

### (2) 平成27年度施設別件数

|               | (職員の接遇等)<br>サービスの接遇内容 | (サービスの質・量)<br>サービスの質・量 | 説明・情報提供 | 施設・設備 | 制度・政策 | 金 銭 | 被 害・損 害 | 権 利 侵 害 | そ の 他 | 計  | (継続中の件数)<br>苦情解決の結果 |
|---------------|-----------------------|------------------------|---------|-------|-------|-----|---------|---------|-------|----|---------------------|
| 北部老人福祉総合エリア   |                       |                        |         |       |       |     |         |         |       | 0  | 0                   |
| 中央地区老人福祉総合エリア |                       |                        |         | 1     |       |     |         |         |       | 1  | 0                   |
| 南部老人福祉総合エリア   | 1                     |                        |         |       |       |     |         |         | 2     | 3  | 0                   |
| 高清水園          |                       |                        |         |       |       |     |         |         |       | 0  | 0                   |
| 心身障害者コロニー     | 2                     | 1                      | 1       |       |       |     | 1       |         | 3     | 8  | 0                   |
| みずばやし         |                       |                        |         |       |       |     |         |         | 1     | 1  | 0                   |
| 阿桜園           |                       | 2                      | 1       |       |       |     |         |         |       | 3  | 0                   |
| やまばと園         | 1                     |                        |         |       |       |     |         |         |       | 1  | 0                   |
| 身体障害者更生訓練センター | 3                     |                        |         |       |       |     |         |         | 2     | 5  | 0                   |
| 点字図書館         |                       |                        |         |       |       |     |         |         |       | 0  | 0                   |
| 計             | 7                     | 3                      | 2       | 1     | 0     | 0   | 1       | 0       | 8     | 22 | 0                   |

※重複あり

### (3) 平成27年度苦情の主な内容

|           | 内容の分類                | 件数 | 割合   | 内 容                  | 例   |
|-----------|----------------------|----|------|----------------------|---|
| 利用施設      | 施設・設備                | 1  | 100% | 施設の設備に関すること          | プール利用について、障害があっても利用しやすいよう階段を設置して欲しい。<br>↓<br>手摺り付プール用階段を設置した。 |
| 障害施設・老人施設 | サービス内容<br>(職員の接遇等)   | 7  | 33%  | 職員の接遇に関すること          | 利用者に対する職員の言葉使いが不適切だった。<br>↓<br>職員の丁寧な言葉遣いについて、周知徹底を図る。        |
|           | サービス内容<br>(サービスの質と量) | 3  | 14%  | 利用者の生活環境に関すること       | 居室の掃除や寝具及び衣類の確認が不十分だった。<br>↓<br>職員間で周知徹底し、改善を図る。              |
|           | 説明・情報提供              | 2  | 10%  | 利用者家族からの要望に関すること     | 利用者家族からの要望について確認漏れがあった。<br>↓<br>利用者、家族からの要望確認について、徹底を図る。      |
|           | その他                  | 8  | 38%  | グループホーム入居者のマナーに関すること | 地域で生活しているなかで、利用者のマナーに問題があった。<br>↓<br>地域生活上のルールやマナーを説明し改善を図る。  |

※上段は申出、下段は解決の内容

## 8. 施設別事業実施の概要と評価

### (1) 秋田県北部老人福祉総合エリア

#### ○施設運営

##### 1) 営業活動の強化

平成27年度は、新たに3エリア協同企画のFMラジオCMによるPRに取り組み広報活動の強化に努めた。また、スポーツ団体の宿泊誘致に向けて、パンフレットを作成し、県北地区の高校への営業活動を実施したほか、秋田市の大学へ出向き新規利用の獲得に努めた。

このほか、県北地区の道の駅へのパンフレットの補充や地元の情報広告紙への情報掲載等による継続的な広報活動を行った。

##### 2) 事業活動の拡充

ゴールデンウィーク、お盆期間、年末年始の季節毎に子供縁日や休憩（入浴）の半額割引を行うなど、年間を通してミニイベントを開催しお客様に楽しんでいただいた。

3月には、恒例となっている「お客様感謝祭」を開催した。子供向けの参加型ゲームをメインとして、芸能ステージ、フリーマーケット、コロニー等の福祉施設の製品販売、餅まきなどの多彩な催し物により、多くの来場者で賑わった。また、当日は地元直売所と共同企画した山の芋汁とえだ豆ご飯を販売し、好評を得ることができた。

県社会福祉協議会と共催により、進路ガイダンス・高校生福祉セミナーを継続開催し、7校17人の参加が得られ、地域福祉活動の推進に努めることができた。

生きがづくり・創作教室として、木工・陶芸・園芸・茶道の教室を継続開催し、延べ1,671人(306回)の参加となった。夏休み期間には、親子エコ教室を開催した。

健康づくり事業では、ユニカール、グラウンドゴルフ、バドミントン、ラージボール卓球の各種スポーツ大会を開催し、延べ631人(7回)の参加があった。このほか、地域住民及び福祉施設職員を対象とした健康づくり教室を開催し、延べ338人(28回)の参加者を得ることができた。

また、前年度に引き続き、北鹿地域の小学校等への出張スポーツ体験教室を実施し、12件543人の利用があった。

## ○世代間交流及び利用の促進

平成27年度の北部エリアの総利用者数は、78,964人で前年度比126人の減となった。

内訳として、有料部門では、全体で2,793人増の43,704人の利用、休憩（入浴）は、1,716人増の30,117人の利用となった。宿泊は、308人増の3,016人、会議室等の利用は、116人増の3,952人となっている。

無料部門は、2,919人減の35,260人となっているが、屋内運動広場の利用が2,380人の減となっており減少傾向にある。

世代間交流事業として、農園での保育園児等と老人クラブの方々によるサツマイモの苗植えと収穫作業を行い、世代間の交流を深めた。（延べ553人）

「県の記念日」「敬老の日」には、休憩（入浴）・テニスコートの無料開放を行い、エリアの機能及び事業の周知を図るとともに利用の拡大に努めた。

市社会福祉協議会主催の大館ボランティアフェスティバル（約2,000人）が北部エリアを主会場に今年度も開催され、地域の交流施設としての役割を担うとともに地域福祉推進の支援に努めた。

また、地元の駅伝大会がエリア周回道路で開催されたほか、県北地区高校女子ソフトテニス大会開催の継続利用があった。

サービス改善として、夕方割引（休憩入浴）の時間繰り上げを年間通して実施し、利用者から好評をいただき、962人の利用増となった。

このほか、スポーツ団体等の宿泊対応を図るため、現行の宿泊定員を50名から85名に変更した。

## ○衛生・安全対策

入浴施設の日常の清掃及び塩素消毒を徹底し、衛生管理に努めたほか、施設及び敷地の日常点検を行い利用者の安全確保に努めた。

防災関係では、設備の日常点検のほか、宿直員・遅番職員による夜間想定訓練を含めた防災訓練を年2回実施し、防災意識の高揚と防災体制の確立に努めた。

また、平成27年度の計画として、大規模災害等の発生に備えた災害用の物品として宿泊室4室の暖房器具の備蓄を進めた。

## ○苦情解決処理状況

平成27年度に苦情として寄せられた意見はなかった。意見・要望等については、職員会議等で協議し対応を図った。また、年2回（10月、3月）第三者委員への報告を行い、対応についての指導・助言等を得ながら円滑な苦情解決とサービス提供に資することとした。

平成27年度北部老人福祉総合エリア利用状況

1. コミュニティセンター等利用状況

※単位；人

| 区 分 |         | 年 間 合 計 (人) |        | 比較増減    |
|-----|---------|-------------|--------|---------|
|     |         | 平成27年度      | 平成26年度 |         |
| 有 料 | 休 憩     | 30,117      | 28,401 | 1,716   |
|     | 宿 泊     | 3,016       | 2,708  | 308     |
|     | 会 議 室 等 | 3,952       | 3,836  | 116     |
|     | 屋内運動広場  | 3,185       | 2,774  | 411     |
|     | テニスコート  | 1,409       | 1,433  | △ 24    |
|     | 自主企画事業  | 2,025       | 1,759  | 266     |
|     | 小 計     | 43,704      | 40,911 | 2,793   |
| 無 料 | 屋内運動広場  | 24,203      | 26,583 | △ 2,380 |
|     | 屋外運動施設等 | 1,340       | 2,297  | △ 957   |
|     | 自主企画事業  | 9,655       | 9,213  | 442     |
|     | 視 察 等   | 62          | 86     | △ 24    |
|     | 小 計     | 35,260      | 38,179 | △ 2,919 |
| 合 計 |         | 78,964      | 79,090 | △ 126   |

2. 各種自主企画事業利用状況

※単位；人 ( )内は開催回数

| 区 分     |        | 平成27年度        | 平成26年度        | 比較増減        |
|---------|--------|---------------|---------------|-------------|
| 生 活 活 動 | 陶 芸    | 930 ( 157 )   | 624 ( 130 )   | 306 ( 27 )  |
|         | 木 工    | 501 ( 126 )   | 548 ( 126 )   | △ 47 ( 0 )  |
|         | 園 芸    | 99 ( 11 )     | 90 ( 18 )     | 9 ( △ 7 )   |
|         | 茶 道    | 141 ( 12 )    | 142 ( 12 )    | △ 1 ( 0 )   |
|         | その他の教室 | 354 ( 30 )    | 355 ( 33 )    | △ 1 ( △ 3 ) |
|         | 小 計    | 2,025 ( 336 ) | 1,759 ( 319 ) | 266 ( 17 )  |

| 区 分   |          | 平成27年度          | 平成26年度          | 比較増減          |
|-------|----------|-----------------|-----------------|---------------|
| 健康づくり | スポーツ大会等  | 1,174 ( 19 )    | 965 ( 13 )      | 209 ( 6 )     |
|       | 小 計      | 1,174 ( 19 )    | 965 ( 13 )      | 209 ( 6 )     |
| 交流活動  | 交流イベント等  | 3,622 ( 22 )    | 3,847 ( 23 )    | △ 225 ( △ 1 ) |
|       | 小 計      | 3,622 ( 22 )    | 3,847 ( 23 )    | △ 225 ( △ 1 ) |
| その他   | 映 写 会    | 2,522 ( 168 )   | 2,478 ( 159 )   | 44 ( 9 )      |
|       | 無 料 開 放  | 438 ( 2 )       | 359 ( 2 )       | 79 ( 0 )      |
|       | ポイントカード等 | 1,899 ( 1,899 ) | 1,564 ( 1,564 ) | 335 ( 335 )   |
|       | 小 計      | 4,859 ( 2,069 ) | 4,401 ( 1,725 ) | 458 ( 344 )   |
| 合 計   |          | 9,655 ( 2,110 ) | 9,213 ( 1,761 ) | 442 ( 349 )   |

3. 過去5年間の利用状況の推移

※単位；人

|                | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| コミュニティセンター利用者数 | 79,425 | 82,979 | 76,922 | 79,090 | 78,964 |

## (2) 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

### ○施設運営

#### 1) 営業活動の強化

3エリア協同で分担し、県内及び隣県4県への営業活動を行った。中央エリアでは、県内の体育協会4箇所と道の駅7箇所、岩手県道の駅7箇所、体育協会2箇所、山形県体育協会3箇所、青森県体育協会3箇所、宮城県体育協会2箇所を訪問し、パンフレットの常置や合宿等の団体宿泊の誘致に向けた営業活動を行った。

また、高速道路の秋田管理事務所を通じ、東北自動車道SA・PAの上り11箇所、秋田・東北自動車道SA・PA下り7箇所を訪問し、パンフレットの常置依頼を行った。

さらにFM番組「スポコンチャンネル」年間協賛(番組スポンサー契約)の開始と、るるぶ広告の契約を行ったほか、「スポーツ団体のご案内」パンフレットを作成し営業活動に役立てた。

#### 2) 事業活動の拡充

健康増進事業及び地域住民の交流の場として定着・拡充を目指している「笑いと健康トークショー」には70名の参加、「ミニテニス大会」には102名の参加があった。

世代間交流事業として、3エリア合同企画イベント「エリア感謝祭」を開催し、体験型イベント(ゲーム・アトラクション)や各種催し物に1,518名の参加があった。

プールを活用した秋田市から受託の介護予防事業「はつらつくらぶ」については838名の利用があり、利用者からの好評を得て継続している。

生きがい・健康づくり活動支援として、陶芸、茶道、太極拳、楽しく体操、ボールエクササイズ、フラダンス、フラワーアレンジメント、セルフジェルネイル教室を継続して開催した。また、夏休み親子体験として「陶芸・七宝焼教室・スイーツデコ」を開催し115名が参加、冬休み親子陶芸・七宝焼き・スイーツデコ教室には85名が参加した。年間の教室開催数は308回、延べ参加者数は5,204名であった。

#### 3) 施設整備

平成27年11月30日から12月18日までプール天井工事の為、営業を休止した。設備全般において老朽化による影響があり、修繕や更新等が目立つようになってきている。

## ○世代間交流及び利用の促進

総利用者数は、有料部門は前年度比4,868人増の149,003人、無料部門は2,171人減の15,211人で、合計で2,697人増の164,214人となっている。

有料部門では休憩(入浴)が前年度比で3,933人減となったが、宿泊で552人、プールで1,185人、会議室等で1,617人それぞれ増加したほか、屋内運動広場においては5,026人の増と大幅に利用が増えており、今後も需要が見込まれる。

ふれあい農園を利用した世代間交流事業では、保育園児とエリア入居者、地域住民の方々によるサツマイモの苗植え作業に112人の参加があり交流を深めたが、成長途中に蔓ボケが生じてイモの発育が非常に悪く、収穫はエリアのみで行った。土の状態が影響していると思われるため、平成28年度については検討が必要である。

「県の記念日」「敬老の日」に休憩(入浴)と屋内運動広場(半面)の無料開放を行い、施設のPRとともに利用の促進に努め、延べ492人の利用があった。

需要が伸びている屋内運動広場については休館日も午後を利用可能としたほか、屋内温水プールでは通常10時からの利用時間を、団体に限り8時から利用可能とし、一般客との混雑を避けるようにした。また、高齢者や障がい者がプールに出入りし易いように移動式の階段を設置し、利用者の便宜を図るためのサービス改善に努めた。

## ○衛生・安全対策

防災関係では、事業計画に基づき年2回の総合防災訓練を実施したほか、部分訓練として一人勤務時や少人数時の火災報知器への対応等についての個別訓練を行い、防災体制の確立と意識の高揚に努めた。また、救急対応については、普通救命講習を受講しAED操作等の技能の保持に努めたほか、AEDを2階にも設置して2台とした。

プール・浴場の衛生管理としてレジオネラ属菌等の検査を実施するとともに、関係設備の清掃及び洗浄消毒等を行い衛生管理の徹底に努めた。

## ○苦情解決処理状況

平成27年度の苦情受付件数は1件で、内容は施設・設備に関するものとなっている。寄せられた苦情・要望等については、協議のうえ回答を伝え、職員へは周知を図った。また、第三者委員への報告を行い、対応についての助言を得た。

平成27年度中央地区老人福祉総合エリア利用状況

1. コミュニティセンター等利用状況

※単位：人

| 区分 | 年間合計(人)   |         | 比較増減    |         |
|----|-----------|---------|---------|---------|
|    | 平成27年度    | 平成26年度  |         |         |
| 有料 | 休憩        | 41,530  | 45,463  | △ 3,933 |
|    | 宿泊        | 3,927   | 3,375   | 552     |
|    | 会議室等      | 32,870  | 31,253  | 1,617   |
|    | 屋内運動広場    | 23,301  | 18,275  | 5,026   |
|    | 緑地運動広場    | 2,034   | 1,359   | 675     |
|    | 陶芸室等      | 2,187   | 2,385   | △ 198   |
|    | プール       | 36,384  | 35,199  | 1,185   |
|    | 休憩&プールセット | 1,566   | 812     | 754     |
|    | 各種自主事業等   | 5,204   | 6,014   | △ 810   |
|    | 小計        | 149,003 | 144,135 | 4,868   |
| 無料 | 屋内運動広場    | 13,474  | 15,468  | △ 1,994 |
|    | 屋外運動施設等   | 202     | 202     | 0       |
|    | 各種自主事業等   | 1,237   | 1,635   | △ 398   |
|    | 視察等       | 298     | 77      | 221     |
|    | 小計        | 15,211  | 17,382  | △ 2,171 |
| 合計 | 164,214   | 161,517 | 2,697   |         |

※プール利用人数には水泳教室参加者4,940人含む

2. 各種自主事業等利用状況

※単位：人 ( )内は開催回数

| 区分  |         | 平成27年度        | 平成26年度        | 比較増減           |                |
|-----|---------|---------------|---------------|----------------|----------------|
| 有料  | 生きがい活動  | 陶芸            | 803 ( 94 )    | 833 ( 98 )     | △ 30 ( △ 4 )   |
|     |         | 銀粘土           | 59 ( 2 )      | 55 ( 1 )       | 4 ( 1 )        |
|     |         | フラワー          | 110 ( 21 )    | 152 ( 20 )     | △ 42 ( 1 )     |
|     |         | 茶道            | 197 ( 24 )    | 224 ( 24 )     | △ 27 ( 0 )     |
|     |         | セルフジェルネイル     | 30 ( 12 )     | 0 ( 0 )        | 30 ( 12 )      |
|     |         | その他の教室        | 50 ( 2 )      | 3 ( 2 )        | 47 ( 0 )       |
|     |         | 小計            | 1,249 ( 155 ) | 1,267 ( 145 )  | △ 18 ( 10 )    |
|     | 健康づくり活動 | 太極拳           | 597 ( 37 )    | 776 ( 36 )     | △ 179 ( 1 )    |
|     |         | ボールEX         | 390 ( 31 )    | 447 ( 32 )     | △ 57 ( △ 1 )   |
|     |         | はつらつくらぶ事業     | 838 ( 36 )    | 837 ( 36 )     | 1 ( 0 )        |
|     |         | 体育教室          | 0 ( 0 )       | 472 ( 35 )     | △ 472 ( △ 35 ) |
|     |         | フラダンス         | 177 ( 24 )    | 150 ( 24 )     | 27 ( 0 )       |
|     |         | 健康づくり事業       | 263 ( 24 )    | 358 ( 23 )     | △ 95 ( 1 )     |
|     |         | 小計            | 2,265 ( 152 ) | 3,040 ( 186 )  | △ 775 ( △ 34 ) |
| その他 | イベント等   | 1,690 ( 1 )   | 1,707 1       | △ 17 △ 17      |                |
|     | 小計      | 1,690 1       | 1,707 1       | △ 17 △ 17      |                |
| 合計  |         | 5,204 ( 308 ) | 6,014 ( 332 ) | △ 810 ( △ 24 ) |                |
| 有料  | 健康      | 水泳教室          | 4,940 ( 631 ) | 4,982 ( 680 )  | △ 42 ( △ 49 )  |
| 合計  |         | 4,940 ( 631 ) | 4,982 ( 680 ) | △ 42 ( △ 49 )  |                |

| 区分  |    | 平成27年度        | 平成26年度        | 比較増減           |                |
|-----|----|---------------|---------------|----------------|----------------|
| その他 | 無料 | 映写会           | 0 ( 0 )       | 242 ( 62 )     | △ 242 ( △ 62 ) |
|     |    | ポイントカード       | 237 ( 237 )   | 234 ( 234 )    | 3 ( 3 )        |
|     |    | 無料開放等         | 634 ( 2 )     | 814 ( 2 )      | △ 180 ( 0 )    |
|     |    | ボランティアルーム     | 366 ( )       | 345 ( 25 )     | 21 ( △ 25 )    |
| 合計  |    | 1,237 ( 239 ) | 1,635 ( 323 ) | △ 398 ( △ 84 ) |                |

3. 過去5年間の利用状況の推移

※単位：人

|                | 平成22年度  | 平成23年度  | 平成24年度  | 平成25年度  | 平成26年度  | 平成27年度  |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| コミュニティセンター利用者数 | 139,779 | 147,801 | 137,952 | 156,515 | 161,517 | 164,214 |

### (3) 秋田県南部老人福祉総合エリア

#### ○ 施設運営

##### 1) 営業活動の強化

営業活動については、営業・広報担当の連携強化に努めエリアの機能や利用施設について積極的な広報活動に努めた。その結果、老人クラブ、生き生きサロン等で43件、910人の利用があり、件数は同じであったものの、僅かであったが利用人数は増加した。

また、毎月のお知らせの工夫、広報誌・地方紙等へ掲載し利用促進に努めるとともに、定期バス運行（登録者34名 内 新規2名）のPR、水泳・ソフトテニス等各種教室の受講生募集、エリア利用プランの案内が記載されたチラシのポスティング（横手市・美郷町方面を対象）等による広報活動を行った。

##### 2) 事業活動の拡充

- ① 夏祭りは毎年恒例である白寿園との共催にて実施し、地域住民及びエリア利用者約3,000人の参加があり打ち上げ花火等により盛大に行われた。また、恒例の秋の祭典は、横手市が設置する「健康の丘おおもり」と共催し、“おおもり健康まつり&エリア秋の祭典”として行い、オリンピックゴールドメダリスト森末慎二氏の講演会をはじめ民謡ショー、作品展、ステージ発表、介護相談、即売会等を企画し、およそ500名の来場者で賑わいをみせた。
- ② 生き生き学園・自主活動の開催回数は864回で、参加総数は5,243人であり、手芸教室を通年開催としたほか、かご編み教室やガラスアート、編み物教室を企画した。また、一昨年から囲碁教室に将棋を含んだ囲碁・将棋教室に変更したことで、参加者数が僅かながらではあるが増加し、他教室とも合わせると増加傾向で推移している。
- ③ 毎月横手市及び県南地域（大仙市・湯沢市）で活躍している個人や団体の作品の展示の場としてミニミニギャラリーを開催している。特に地元の3保育所の園児が描く恒例の「ぼく・わたしのおじいちゃん、おばあちゃん」作品展は好評であり、多くのおじいちゃん、おばあちゃんが訪れていた。また、「クラフトかご・割り箸工作」展では多くの問い合わせがあり、来場者の関心を引いていた。
- ④ 各種スポーツ大会等においてはエリア杯グラウンドゴルフ大会、同ゲートボール大会、チャレンジデースマイルボウリング大会、スマイルボウリング大会、第1～4回皆で楽しむグラウンドゴルフ大会、秋の祭典スポーツイベントスマイルボウリング大会・卓球大会等、計10大会を開催し、812名の参加があった。

- ⑤ 地域福祉推進活動として、県指定の「介護職員初任者研修」(11名)、県社会福祉協議会との共催による高校生対象の「福祉セミナー&進路ガイダンス」(9高校 19名)、県リハビリセンターとの共催による「リハビリ健康教室」を実施した。同教室には施設入所者20人、地域住民14人の参加があった。また、福祉車両の無料貸出し事業を継続して実施しており、(利用件数46件、利用延べ日数76日)在宅高齢者や障がい者の方々による定期通院、一時外出、施設利用者の一時的外出、病院からの転・退院等に使用され、リピーターが多く見られる。
- ⑥ ボランティア活動については、横手市社会福祉協議会と連携を図り、活動日数8日、31人の活動であった。(地域の婦人会・JA部会・高校同窓会支部、他)

### 3) 施設設備

- ① 屋内プール、旧診療リハビリセンター、旧シルバーケア浴室等及び屋外棟トイレ屋根の防水層工事が地域振興局工事として施行された。(8月～11月)
- ② 設備機器等の経年劣化による不良、能力低下のため、電気、給水、暖房設備の機器更新工事が地域振興局工事として施行された。(8月～11月)

### 4) その他

- ① 電気使用量はほぼ横ばいであり、軽費老人ホームでの新規事業による夜勤体制等により、使用量が増えている部分があるものの、エリア全体では節電の取り組みが職員に浸透しており今後も継続に努める。
- ② 「介護職員初任者研修」については早くから周知、広報(新聞折り込みチラシ・ダイレクトメール等)に努めたものの募集定員30名に対し、11名の受講申し込みとなり3年連続による定員割れとなった。
- ③ 3エリア協同による営業・広報戦略の一環として合同の視察研修を実施した。好評であった合同イベント作成については早くから業者と検討を重ね計画通り進めることができた。
- ④ 3エリア合同イベントとして昨年大好評であった利用者参加型ゲーム第2弾「ユニちゃんの記憶を取り戻せ」を雪まつりの目玉として行い、昨年同様約1,200人にのぼる親子連れの来場者があり盛況であった。
- ⑤ エリア前の周回道路への「のぼり旗」設置による企画PR活動は冬季間を除いて実施し、集客を図った。
- ⑥ 平成21年度から横手市より受託している配食サービスは、一人暮らしの高齢者の安否確認という目的もあり地域における重要な事業の一つとなっているが、地域全体における人口減のなかで登録者数の減少・利用廃止等により厳しい状況となっている。

## ○世代間交流及び利用の促進

平成27年度の利用者数は89,752人で、有料部門が851人の減、無料部門が1,969人の減となり、前年度比2,820人の減であった。世代間交流事業としては、夏・冬の親子チャレンジ教室(33回557人)を実施した。

今年度の新規教室としてスイーツデコ、おやつ作りのほか、デイキャンプ&防災レシंप体験、地熱発電所見学等野外での教室も開催し、人気のある教室は多くの希望者があったため、急遽定員を増やすなど回数を追加して希望者に対応した。

## ○居宅支援センター

1) 指定居宅介護支援事業所については、入居者利用のほか地域住民登録者を含め57名であり、市町村(横手市、湯沢市、横浜市)依頼により37件の介護認定の訪問調査を実施した。

(要介護者総数532人 要支援者総数240人 計772人利用)

2) 指定訪問介護事業所については、軽費老人ホームでの特定施設入居者生活介護事業開始に合わせて体制の見直しを行い、ヘルパー11名体制でサービス提供を行い、延べ利用者数は7,777人であった。その後ヘルパー2名の欠員が発生しているが、早朝サービスの提供を含め、利用者のニーズに対応できるよう努力した。介護関連事業においては、2月に秋田県介護サービス情報公表センターで実施している介護サービス情報公表の調査を受け、当事業所の介護サービスをインターネット上で周知し、サービスの向上と効率的運営に努めた。

## ○入居施設

1) 養護老人ホーム

利用者の平均年齢が81.6歳と高齢化が進み、全体的に身体機能の低下が進んでいる。また、認知症の方が年々増えてきており、一人ひとりに合った個別支援計画の作成と、個々の状況に応じた居住環境の整備、訪問介護、訪問リハビリ等の利用について、都度本人や家族に情報提供し、安心した日常生活を送ることができるよう支援に努めた。

また、夜間及び日中においても生活に不安を抱える利用者が多くなっており、訪室等の回数を増やすなどして生活状況の把握に努めるとともに、徘徊感知機器などの福祉用具を活用した事故の未然防止、体調等の変化に速やかに対応することにより、安全な生活の確保に努めた。

日中の活動として、誰でも気軽に参加できるクラブ内容の充実に努めるとともに、他利用者と交流の機会が少ない利用者には、個別に参加を呼び掛け、「健康体操(46回実施延べ人数842名)」「音楽クラブ(49回実施延べ人数1,188名)」「ごきげんクラブ(24回実施延べ人数307名)」を開催した。

訪問介護事業所と連携をとり、各種行事への参加、ショッピング等外出支援を行い、質の高いサービスの提供に努めた。

保健・医療面では、毎日のバイタルチェックを行うとともに、疾病が重症化しないよう嘱託医と連携し、定期診察、定期健診、医療相談などを行い、利用者の不安解消に努めた。

感染症予防については、インフルエンザ予防接種を実施したほか、利用者の予防意識を高めるため、利用者会議等の機会を活用し、感染予防の周知に努めた。

防災については、総合防災訓練で備蓄食糧、暖房器具・防災グッズ等の運び出しを行うなど、備蓄を確認し災害時に備えた。施設では日中、夜間勤務体制での避難訓練を行い、有事の際の適切な対応等職員の危機意識を高めるための訓練を実施した。

|              |     |                  |
|--------------|-----|------------------|
| 平成28年3月31日現在 | 利用者 | 50名              |
| 要介護認定者       |     | 23名              |
| 要支援認定者       |     | 13名              |
| 総合支援事業者      |     | 1名               |
| （訪問介護利用者     |     | 29名）             |
| （デイサービス利用者   |     | 1名）              |
| （訪問リハビリ利用者   |     | 2名）              |
| 平成27年度       | 入所者 | 4名               |
|              | 退所者 | 3名（他施設入所1名 死亡2名） |

## 2) 軽費老人ホーム

利用者の平均年齢が84.1歳であり、高齢化と共に心身の機能低下が著しく、日常生活に不安を抱える利用者が増えており、日中の訪問介護事業所の利用だけでは日常生活が困難な状況も見られるため、食事や入浴などの日常生活に必要な支援を提供できるよう、7月から特定施設入居者生活介護事業を開始した。

横手市地域包括支援センター及び大森地域局地域課の協力を得て、関東地区大森ふるさと会会員等に施設の情報を提供するなどの広報活動を実施し利用促進に努めた。また、「かまくら横手」主催の介護説明会に参加し、施設の紹介をして認知度の向上を図った。

利用者個々のニーズに基づいた個別支援計画を作成するとともに、随時生活相談に応じ、利用者の状況に対応した介護保険サービスを活用した居住環境の整備や、訪問介護サービス等の情報提供により、安全な日常生活を継続的に送ることができるよう支援に努めた。

また、体調不良等により一時的に日常生活に困難が生じた場合、利用者が希望する家事援助などのサービスを有償で提供することにより、施設生活が

継続できるよう努めた。

保健面では定期健康診断や健康相談を実施し、協力医療機関との連携により、高齢による疾病の重症化の未然防止に努めながら、日々の体調把握のほか、希望に応じて随時面談することで不安の解消に努めた。

身体機能の維持については、健康体操や専門講師による「元気ハツラツ教室」を開催し、介護予防についての啓蒙活動に努めた。

感染症予防については、インフルエンザ予防接種を実施したほか、利用者の予防意識を高めるため談話会等、多くの機会を活用し注意と喚起を呼び掛けた結果、インフルエンザ等感染症の罹患者はなかった。

平成28年3月31日現在、利用者数46名

(2人部屋1室が空室)

要介護認定者 13名

要支援認定者 20名

(特定施設入居者生活介護利用者 19名)

(訪問介護事業利用者 11名)

(デイサービス利用者 1名)

平成27年度 入所者数 11名

退去者数 2名 (他施設入所1名 死亡1名)

### 3) 老人専用マンション

利用者の平均年齢が86.6歳であり、高年齢化とともに支援を必要とする利用者が増加傾向にあるため、必要な時に介護サービスを速やかに利用できるよう適時生活相談に応じるとともに、介護保険サービスの情報提供に努めた。また、市町村及び居宅介護支援事業所、訪問介護事業所等関係機関と連携し、介護サービスの導入と福祉用具の活用等により、生活の質の向上に努めた。

日中の介護保険サービス利用だけでは居室での生活が困難な状況から、介護保険施設や有料老人ホームへの移行があったため入居者数は減ってきている。入居問い合わせが5件あったものの入居には至らなかった。

健康面については、随時健康相談等を実施し、病気に対する不安の解消に努めるとともに、定期健康診断等により病気の早期発見と、協力医療機関との連携により病気の重症化の回避に努めた。

また、感染症予防として利用者の健康と清潔な生活環境の維持に努めるとともに、インフルエンザの予防接種を実施したほか、利用者の予防意識を高めるため、談話会等多くの機会を活用し注意を喚起した結果、インフルエンザ等感染症の罹患者はなかった。

心身機能の低下予防として外出援助の機会を設けるとともに、健康体操の実施、地域や当エリアで開催している生きがい・健康づくり活動等への参加を促

し、生きがい活動につなげた。

利用促進については、大森地域局地域課の協力を得て関東地区大森ふるさと会会員等へ施設の情報を提供し広報活動に努めたが、新たな入居には至らなかった。

平成28年3月31日現在、利用者数 10名  
(個室 6室 夫婦部屋 3室が空室)

|             |                   |
|-------------|-------------------|
| 入所者数        | 0名                |
| 退去者数        | 5名 (他施設入所3名 死亡2名) |
| 要介護認定者      | 1名                |
| 要支援認定者      | 3名                |
| 介護保険サービス利用者 | 3名                |

### ○衛生・安全対策

防災関係では、年2回消防署の立ち会いのもと総合防災訓練を実施し、互助協力体制の必要性、重要性を職員・入居者ともに体感することができた。また、AED3台のうち1台が耐用年数超過のため、更新し緊急時対応に備えた。

災害時に備えた事業団全体の緊急一斉メール送信の定期訓練の参加とともに、最近多発している異常気象による災害への注意喚起等を都度行った。また、冬季間における道路の除雪、避難路の確保に努め、設備関係についても、プールや浴場も含めて点検等を怠ることなく、利用者や入居者の安全に配慮した。

### ○苦情解決処理状況

コミュニティセンターにおいては、顧客満足度調査等による意見・要望について29件あり、速やかな回答に努め館内に掲示し周知している。

居宅支援センターにおいては、毎月現任研修を行い職員間の連携の強化を図りながらサービスの向上に努め、3月には苦情解決状況報告会を開催し、顧客満足度調査等の結果を報告し適切な助言を得た。

平成27年度南部老人福祉総合エリア利用状況(前年度比較)

1. コミュニティセンター等利用状況

※単位:人

| 区分 | 年間合計(人) |        | 比較増減    |         |
|----|---------|--------|---------|---------|
|    | 平成27年度  | 平成26年度 |         |         |
| 有料 | 休憩泊     | 11,291 | 12,290  | △ 999   |
|    | 会議室     | 1,169  | 798     | 371     |
|    | 屋内運動場   | 844    | 1,329   | △ 485   |
|    | プール     | 5,046  | 6,276   | △ 1,230 |
|    | ネット券    | 7,802  | 7,044   | 758     |
|    | 自主事業    | 181    | 134     | 47      |
|    | 計       | 6,055  | 5,368   | 687     |
| 無料 | 屋内運動場   | 32,388 | 33,239  | △ 851   |
|    | 各種自主事業等 | 26,503 | 26,653  | △ 150   |
|    | その他事業   | 11,457 | 10,718  | 739     |
|    | 視察等     | 19,207 | 21,862  | △ 2,655 |
|    | 計       | 197    | 100     | 97      |
| 合計 | 89,752  | 92,572 | △ 2,820 |         |

2. コミュニティセンター各種自主事業参加状況

※単位:人 ( )内は開催回数

| 区分         |             | 年間合計(人)       |               | 比較増減        |              |
|------------|-------------|---------------|---------------|-------------|--------------|
|            |             | 平成27年度        | 平成26年度        |             |              |
| 趣味活動       | 有料          | お茶会           | 74 ( 11 )     | 100 ( 11 )  | △ 26 ( 0 )   |
|            |             | 華道            | 135 ( 12 )    | 80 ( 9 )    | 55 ( 3 )     |
|            |             | コーラス          | 100 ( 11 )    | 107 ( 12 )  | △ 7 ( △ 1 )  |
|            |             | 囲碁            | 505 ( 51 )    | 412 ( 48 )  | 93 ( 3 )     |
|            | 小計          | 814 ( 85 )    | 699 ( 80 )    | 115 ( 5 )   |              |
| 健康づくり活動    | 有料          | 太極拳           | 132 ( 12 )    | 114 ( 11 )  | 18 ( 1 )     |
|            |             | 水中運動          | 77 ( 21 )     | 120 ( 22 )  | △ 43 ( △ 1 ) |
|            |             | ゲートボール        | 0 ( 0 )       | 0 ( 0 )     | 0 ( 0 )      |
|            |             | レクスポ          | 331 ( 22 )    | 328 ( 23 )  | 3 ( △ 1 )    |
|            |             | 卓球            | 356 ( 21 )    | 313 ( 23 )  | 43 ( △ 2 )   |
|            |             | ヨガ            | 108 ( 23 )    | 76 ( 22 )   | 32 ( 1 )     |
|            |             | ベビースイミング      | 0 ( 0 )       | 13 ( 7 )    | △ 13 ( △ 7 ) |
| 水泳教室・各種教室  | 878 ( 367 ) | 1,058 ( 355 ) | △ 180 ( 12 )  |             |              |
|            | 小計          | 1,882 ( 466 ) | 2,022 ( 463 ) | △ 140 ( 3 ) |              |
| 講座・講演      | 有料          | なつメロ          | 539 ( 11 )    | 485 ( 11 )  | 54 ( 0 )     |
|            |             | 移動講座          | 47 ( 2 )      | 49 ( 2 )    | △ 2 ( 0 )    |
|            |             | テーブルコーディネート   | 0 ( 0 )       | 0 ( 0 )     | 0 ( 0 )      |
|            |             | 小計            | 586 ( 13 )    | 534 ( 13 )  | 52 ( 0 )     |
| 創作活動       | 有料          | 陶芸            | 1,096 ( 213 ) | 779 ( 180 ) | 317 ( 33 )   |
|            |             | 民芸            | 542 ( 49 )    | 418 ( 45 )  | 124 ( 4 )    |
|            |             | 木工            | 44 ( 22 )     | 45 ( 23 )   | △ 1 ( △ 1 )  |
|            |             | 料理            | 279 ( 16 )    | 179 ( 12 )  | 100 ( 4 )    |
|            | 小計          | 1,961 ( 300 ) | 1,421 ( 260 ) | 540 ( 40 )  |              |
| 教室合計       |             | 5,243 ( 864 ) | 4,676 ( 816 ) | 567 ( 48 )  |              |
| 各種大会合計     |             | 812 ( 10 )    | 692 ( 9 )     | 120 ( 1 )   |              |
| 自主事業(有料)合計 |             | 6,055 ( 874 ) | 5,368 ( 825 ) | 687 ( 49 )  |              |

自主事業(無料)

| 区分       | 平成27年度     | 平成26年度     | 比較増減     |         |
|----------|------------|------------|----------|---------|
| 映写会      | 928 ( 48 ) | 842 ( 48 ) | 86 ( 0 ) |         |
| 生きがい創作館  | 2,449      | 2,306      | 143      |         |
| イベント・研修等 | 8,080      | 7,570      | 510      |         |
| 合計       | 11,457     | 10,718     | 739      |         |
| その他事業    | 生きがい交流広場   | 532        | 618      | △ 86    |
|          | ふれあいセンター   | 14,221     | 16,923   | △ 2,702 |
|          | 西部トレセン     | 4,454      | 4,321    | 133     |
| 合計       | 19,207     | 21,862     | △ 2,655  |         |

3. 過去5年間の利用状況の推移

※単位:人

|                       | 平成23年度  | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------|--------|
| コミュニティセンター等の利用者数      | 118,296 | 99,585 | 98,022 | 92,572 | 89,752 |
| コミュニティセンター利用者数(横手市除く) | 84,789  | 69,127 | 69,604 | 71,328 | 71,077 |

その他

| 区分      | 平成27年度    | 平成26年度    | 比較増減        |
|---------|-----------|-----------|-------------|
| チャレンジ教室 | 557       | 515       | 42          |
| ポイントカード | 112       | 144       | △ 32        |
| 無料開放    | 597 ( 2 ) | 704 ( 2 ) | △ 107 ( 0 ) |

利用実績状況調

平成28年3月31日現在

【養護老人ホーム】

| 市町村  |     | 区分 |    | 合計 |
|------|-----|----|----|----|
|      |     | 男  | 女  |    |
| 県内市  | 横手市 | 16 | 33 | 49 |
|      | 湯沢市 |    | 1  | 1  |
|      |     |    |    |    |
|      |     |    |    |    |
|      |     |    |    |    |
|      | 小計  | 16 | 34 | 50 |
| 県内町村 |     |    |    |    |
|      |     |    |    |    |
|      |     |    |    |    |
|      |     |    |    |    |
|      | 小計  | 0  | 0  | 0  |
| 県外   | 小計  |    |    | 0  |
| 合計   |     | 16 | 34 | 50 |

【軽費老人ホーム】

| 市町村  |       | 区分 |    | 合計 |
|------|-------|----|----|----|
|      |       | 男  | 女  |    |
| 県内市  | 北秋田市  |    |    | 0  |
|      | 秋田市   |    | 2  | 2  |
|      | 横手市   | 10 | 10 | 20 |
|      | 湯沢市   | 1  | 3  | 4  |
|      | 大仙市   |    | 5  | 5  |
|      | 仙北市   | 1  |    | 1  |
|      | 由利本荘市 |    | 1  | 1  |
|      | にかほ市  |    |    | 0  |
|      | 小計    | 12 | 21 | 33 |
| 県内町村 | 美郷町   | 1  | 1  | 2  |
|      | 羽後町   | 1  | 2  | 3  |
|      | 東成瀬村  | 1  |    | 1  |
|      | 小計    | 3  | 3  | 6  |
| 県外   | 小計    | 4  | 3  | 7  |
| 合計   |       | 19 | 27 | 46 |

【老人専用マンション】

| 市町村  |       | 区分 |   | 合計 |
|------|-------|----|---|----|
|      |       | 男  | 女 |    |
| 県内市  | 秋田市   |    | 1 | 1  |
|      | 横手市   | 1  | 2 | 3  |
|      | 湯沢市   |    | 1 | 1  |
|      | 大仙市   |    | 1 | 1  |
|      | 由利本荘市 |    | 1 | 1  |
|      | 小計    | 1  | 6 | 7  |
| 県内町村 | 美郷町   |    | 1 | 1  |
|      | 羽後町   | 1  | 1 | 2  |
|      | 小計    | 1  | 2 | 3  |
| 県外   | 小計    |    |   | 0  |
| 合計   |       | 2  | 8 | 10 |

## (4) 秋田県高清水園

### ○施設運営

#### 1) 利用状況

入所利用については、平成28年3月31日現在、成人施設は定員60名に対し現員54名、児童施設は定員40名に対し現員35名(うち経過的入所33名)で概ね90%の利用率である。利用者のプライバシーや行動特性等に鑑み、個室利用が適当な方々には可能な限り対応を行うように努めている。

新規の入所利用について、児童・成人施設ともになかった。退所は、成人施設で男性2名(死亡1名・他施設へ1名)あった。

生活介護は60名の定員に対し、69名(入所56名、通所13名)のサービス利用があった。

なお、待機者登録者数は、平成27年度中に成人施設に男性4名、女性1名の新規登録があり、成人施設では男性31名、女性9名、児童施設は男子1名、女子0名となっている。

#### 2) 地域生活

4月当初は、グループホーム6棟、入居者31名(男性11名、女性20名)であったが、7月に2名(男性1名(長期入院)、女性1名(他施設へ))の退所があり、入居者29名(男性10名、女性19名)となった。

また、2棟の大家から賃貸契約の解除の申し出があり、新たな賃貸借物件を確保し、9月初日から新住居に転居した。併せて入居現員数に定員を変更した。

毎月世話人連絡会を実施し、研修や勉強会を取り入れるとともに、日中利用者を受け入れている寮職員が同席して情報交換を行うなど支援の向上を図った。

地域町内会で行われた防災訓練への参加や、警備会社を交えた通報訓練等を実施し、非常時に適切な行動ができるよう訓練を行った。

#### 3) 相談支援事業の進捗

指定一般相談支援事業について、地域移行支援及び地域定着支援、その他一般的な相談はなかった。

指定特定相談支援事業について、サービス利用支援は413件であり、うち新規は32件であった。継続サービス利用支援は226件で、計639件を各市町村に提出した。

月によって件数に隔たりがあったり、サービス担当者会議から本計画の提出、モニタリング等を短期間で実施しなければならない場合や、夕方から夜間の時間帯での面談希望については、事務整理等があることから対応が難しいため面談時間の調整に苦慮したケースなどもあったが、概ね実施することができた。

毎月1回開催される「秋田市障がい者支援協議会相談支援部会」に出席し、関係機関と情報交換を行ない、地域生活支援事業の移動支援と基幹相談支援センター等について検討を行った。

#### 4) 経営改善計画の推進

園内に「事業のあり方ワーキンググループ」、「児童のあり方ワーキンググループ」、「グループホーム整備計画ワーキンググループ」、「TEACCHプログラムに係るワーキンググループ」を設置し検討を行った。

前年度の空調設備、LED化等の大規模改修を踏まえ、快適な居住環境とサービスの維持に配慮しながら、消耗品等の経費抑制に努めた。

地域における公益的な活動（地域貢献）として、秋田市内の17箇所の知的障がい者グループホームの利用者50名の交流と余暇活動の支援として、秋田市内のボウリング場で2回に分けてボウリング大会を実施した。

ボランティア講座を3回開催し、15名が受講した。

給食業務のアウトソーシングについては、検討した結果、当面は現状を継続することとした。

共同生活援助事業（グループホーム）では、10月より看護師を配置し、医療連携体制加算を受けることができるよう整備した。

新たな5カ年経営計画には、平成28年度に放課後等デイサービス事業所の開設と、障害児入所施設は平成29年度から障害者支援施設へ移行し、施設入所支援事業と生活介護事業を行うこと等を盛り込んだ。

### ○施設支援

平成27年度末の利用状況について、福祉型障害児入所施設では、福祉型障害児入所施設2名、経過的生活介護・経過施設入所支援33名であった。

栗田養護学校（現栗田支援学校）高等部2学年に2名が通学し、学級担任と年2回（春、秋）及び必要に応じて面談を実施したほか、年3回の学校・施設連絡会、スクールバス運行委員会等を通じて学校との連携を図った。

経過的生活介護・経過施設入所支援では、希望により女性2名が2箇所の就労支援B型事業所に通所した。他の方々は、者施設の畑作業・環境整備等のグループ活動に参加したほか、リサイクル活動（ペットボトルや空き缶の洗浄・ラベルはがし・缶潰し等）を実施し、日中活動の充実を図った。

障害者支援施設では、施設入所支援は年度中に男性2名が退所（死亡1名、他施設へ1名）し、54名（男34名、女20名）であった。

生活介護は、定員60名に対し69名が利用し、昨年度に引き続きほぼ上限となる利用状況であった。創作・生産活動として畑作業・環境整備・軽作業・創作（パズル、刺し子）・運動レク等の6グループ活動を編成した。

全職員に、障害者虐待防止法を遵守した利用者の支援の周知と徹底を図るとともに、前年度に引き続き、全支援職員が自閉症、強度行動障害等への専門的な支

援を行うよう、所内において、自閉症、強度行動障害者支援にかかる研修等を実施したほか、利用者全員について個別支援計画に加え、個々の指示・手順書を作成するとともに、職員間での情報の共有化に努めた。自閉症の方の支援としてはTEACCHプログラムにおける構造化のアイデアの活用や、情緒安定を図るためのスヌーズレンルームを新たに整備するなどし、障がい者の求めている支援を意識した取り組みに努めた。

## ○居宅支援・その他の委託事業

短期入所・日中一時支援事業は、在宅支援の一環として利用を希望する障がい児者の受け入れに引き続き努めた。

日中一時支援事業（放課後支援型）は、延べ1,525名の利用があり、引き続き専任職員が栗田養護学校（現栗田支援学校）内において支援を実施した。

共同生活援助事業は、男子2棟、女子4棟の計6棟を運営し、日中活動として就労9名、就労継続支援A型事業所1名、就労継続支援B型事業所利用10名、生活介護事業所8名、職場実習1名、計29名の地域生活の支援を行った。

〔居宅支援事業等実施状況〕

〔平成28年3月31日現在〕

| 事業名      |                         | 男     | 女   | 計     |
|----------|-------------------------|-------|-----|-------|
| 障害福祉サービス |                         |       |     |       |
|          | 短期入所事業                  | 43    | 71  | 114   |
|          | 共同生活援助事業(GH)            | 10    | 19  | 29    |
|          | 計画相談支援                  | 369   | 270 | 639   |
| 地域生活支援事業 |                         |       |     |       |
|          | 日中一時支援事業                | 71    | 79  | 150   |
|          | 日中一時支援事業<br>(放課後及び長期休業) | 1,431 | 94  | 1,525 |

\* 共同生活援助事業（入居者数）以外は延べ人数で表記

## ○健康管理

定期健康診断、毎月の内科・精神科検診、各医療機関との連携等を通じて、利用者の健康管理、疾病予防、疾病の早期発見等に努めた。

また、感染症予防に注力し、リーフレットの回覧、ポスターの掲示等により職員間の予防に対する意識付けを強化するとともに、年間を通して各玄関や各棟入口にハセッパ水を置き、手指消毒や手洗いを励行した。その結果、感染症の集団発生を防止することができた。

## ○地域交流・社会参加

園行事（スポーツ・レクリエーション・夏祭り）には、ボランティア13名を受け入れた。縫製ボランティア1名が引き続き活動を継続し年間11回の活動を実施した。

また、ボランティア講座を受講した方々にボランティア登録者を募り、新規に11名がボランティア登録をし、そのうち8名が支援ボランティアとして活動を実施した。

実習生の受入は、依頼7校、人数12名、延べ日数78日であった。

地域との交流は、7月に県知的障害者福祉協会主催の中央地区スポーツ交流会に参加し、ゲームを楽しむなど交流を図ったほか、9月には上北手地区大運動会の見学を行った。また、公益的な活動（地域貢献）としてグループホーム利用者のボウリング大会を企画し、交流を行った。

## ○苦情解決処理状況

苦情の受付はなかった。

また、毎月実施している「なんでも相談」も引き続き実施し、利用者から24件の相談があった。内容は質問や要望がほとんどであったが、利用者が自分の意見を言える場として、今後も継続して実施する。

## 市 町 村 別 利 用 状 況

平成28年3月31日

【施設入所:成人】定員60名

| 市町村  |       | 区分 |    | 合計 |
|------|-------|----|----|----|
|      |       | 男  | 女  |    |
| 県内市  | 秋田市   | 18 | 10 | 28 |
|      | 北秋田市  | 0  | 0  | 0  |
|      | 潟上市   | 3  | 1  | 4  |
|      | 能代市   | 1  | 0  | 1  |
|      | 横手市   | 1  | 0  | 1  |
|      | 大館市   | 0  | 0  | 0  |
|      | 由利本荘市 | 3  | 0  | 3  |
|      | 男鹿市   | 3  | 1  | 4  |
|      | 大仙市   | 1  | 2  | 3  |
|      | 湯沢市   | 1  | 0  | 1  |
|      | 仙北市   | 1  | 3  | 4  |
|      | 小計    | 32 | 17 | 49 |
| 県内町村 | 五城目町  | 0  | 1  | 1  |
|      | 八郎潟町  | 1  | 0  | 1  |
|      | 美郷町   | 1  | 1  | 2  |
|      | 八峰町   | 0  | 1  | 1  |
|      | 小計    | 2  | 3  | 5  |
| 県外   |       | 0  | 0  | 0  |
|      | 小計    | 0  | 0  | 0  |
| 合計   |       | 34 | 20 | 54 |

【施設入所:児童】定員40名

| 市町村  |       | 区分 |    | 合計 |
|------|-------|----|----|----|
|      |       | 男  | 女  |    |
| 県内市  | 秋田市   | 17 | 7  | 24 |
|      | 北秋田市  | 0  | 0  | 0  |
|      | 潟上市   | 2  | 0  | 2  |
|      | 能代市   | 0  | 1  | 1  |
|      | 横手市   | 0  | 0  | 0  |
|      | 大館市   | 0  | 0  | 0  |
|      | 由利本荘市 | 2  | 1  | 3  |
|      | 男鹿市   | 1  | 1  | 2  |
|      | 大仙市   | 2  | 0  | 2  |
|      | 湯沢市   | 0  | 0  | 0  |
|      | 仙北市   | 1  | 0  | 1  |
|      | 小計    | 25 | 10 | 35 |
| 県内町村 |       | 0  | 0  | 0  |
|      |       | 0  | 0  | 0  |
|      |       | 0  | 0  | 0  |
|      |       | 0  | 0  | 0  |
|      | 小計    | 0  | 0  | 0  |
| 県外   |       | 0  | 0  | 0  |
|      | 小計    | 0  | 0  | 0  |
| 合計   |       | 25 | 10 | 35 |

【通所利用者】

| 区分   | 男 | 女 | 計  |
|------|---|---|----|
| 生活介護 | 4 | 7 | 11 |
| 合計   | 4 | 7 | 11 |

※児童施設の就学児数

| 学年  | 男 | 女 | 計 |
|-----|---|---|---|
| 小学部 | 0 | 0 | 0 |
| 中学部 | 0 | 0 | 0 |
| 高等部 | 0 | 2 | 2 |
| 合計  | 0 | 2 | 2 |

通学校:栗田養護学校

【グループホーム:定員29名】

| 市町村   | 結 | みのり | さくら | あおぞら | 彩 | こまち | 計  |
|-------|---|-----|-----|------|---|-----|----|
|       | 女 | 男   | 女   | 男    | 女 | 女   |    |
| 秋田市   | 2 |     | 3   | 2    | 1 | 2   | 10 |
| 由利本荘市 |   |     | 1   |      | 2 | 1   | 4  |
| 男鹿市   | 1 | 2   |     |      |   | 1   | 4  |
| 仙北市   |   |     |     | 2    |   |     | 2  |
| 大仙市   | 1 |     |     | 1    |   | 1   | 3  |
| 横手市   |   |     |     |      | 1 |     | 1  |
| 潟上市   |   | 0   |     |      |   |     | 0  |
| 美郷町   | 1 |     |     |      |   | 1   | 2  |
| 五城目町  |   |     |     | 1    |   |     | 1  |
| 井川町   |   | 2   |     |      |   |     | 2  |
| 合計    | 5 | 4   | 4   | 6    | 4 | 6   | 29 |

## (5) 秋田県心身障害者コロニー

### ○施設運営

#### 1) 利用状況

入所利用については、退所者16名（地域移行1名、死亡15名）に対し、新規入所者は11名であった。生活介護、自立（生活）訓練、就労継続支援B型事業の通所利用者は66名で、そのうち新規利用者は1名であった。

その他新規として短期入所13名、日中一時3名の受け入れを行った。

#### 2) 地域生活支援

グループホーム15棟計72名の地域生活者に対する支援体制の充実に向け、西目市街地に設置を継続し、サポートセンター職員10名による相談・支援の他、看護師1名を配置し地域生活者の健康管理の充実に引き続き行った。また、夜間支援についても、継続して宿直員体制の対応とホームセキュリティの業務委託により防犯対策を講じるとともに、職員の夜間巡回、携帯電話の24時間対応等により安心・安全確保に努めた。

なお、防災対策としては、非常食の補充や訓練の見直しを行い実施した。

#### 3) 就労支援

就労継続支援B型事業では、製パン、木工、窯業、園芸、果樹(畜産含む)の作業種目で事業を継続した。

製パンでは、施設利用者の減に伴い給食への提供分が減少したが、即売会やグループホーム等への提供に努めることで補った。

木工では昨年に引き続き各地域振興局、由利本荘市等からのスノーポールを受注することができ納品した。

果樹では、主力のりんご（ふじ）の病虫害被害が少なく収穫量も十分確保できたことから、すべての贈答用の引き合いに応じることができた。

利用者一人あたりの月額平均工賃は、昨年の実績を上回る18,772円であった。

#### 4) 高齢化への対応

高齢化対策検討委員会では、定期的に高齢化実態調査を実施し、身体状況や補装具の使用状況などを把握し、支援の参考としている。3月31日現在の高齢化率（65歳以上）は53.5%であり、前年度より1.8%上昇し平均年齢は62.2歳となっている。特に創生支援課と赤光支援課においては、それぞれの平均年齢が72.5歳と73.0歳と非常に高くなっている。

高齢化に伴う心身機能の低下による介護量や医療的ケアの増大が顕著であり、医療的ケアを優先するケースについては、コロニー診療所への移動がスムーズな銀杏支援課や創生支援課への移行・検討を行った。また、介護技術や介護用品等についての研修を推し進めるとともに、診療所等医療機関との連携を図りながら支援の充実に努めた。

#### 5) 経営改善計画の推進

生活介護サービスの人員配置体制加算と障害支援区分の上位変更により、自立支

援費収入が増となり、安定した収益が確保できた。また、電気及び燃料の使用状況を毎月確認し、全職員に周知することで経費削減意識の浸透を図り支出の抑制に取り組んだ。そのほか、委員会メンバーを中心として課題ごとのワーキンググループを編成し、新規事業展開の可否や地域公益活動の取り組み、5カ年経営計画の策定、就労継続支援B型事業のあり方、職員提案にかかる施設対応案の実施等について検討し経営改善の推進を図った。

## ○施設支援

平成27年度末の利用者は、生活介護362名、就労継続支援B型45名、自立(生活)訓練4名、施設入所支援376名である。

生活介護通所(あじさい棟)利用者21名(内新規利用者3名)

## ○居宅支援・その他の受託事業

由利本荘市・にかほ圏域の在宅障がい児(者)の短期入所事業述べ利用日数は780日、日中一時支援事業の述べ利用日数は326日であった。

障害児(者)地域療育支援事業では、由利本荘市・にかほ市の子育て支援担当課と連携を図りながら、療育相談・指導及び技術指導等を実施した。

相談支援事業においては「障がい児・者相談会」を開催し、基幹相談支援センターの周知を図るとともに毎月相談支援事業連絡会を開催することで、地域の相談支援の拠点として事業を展開した。

障害者就業・生活支援センター事業では、地域在住の障がい者の就労支援、生活支援を実施し、相談件数は月平均217件余りに対応したほか、31名の就労と29件の実習受け入れを支援した。

また、由利本荘市基幹相談支援センターが実施する相談会に参加したほか、勉強会の開催や余暇活動支援等を行った。

[居宅支援事業等実施状況]

[平成28年3月31日現在]

| 事業名      |                         | 男   | 女   | 計     |
|----------|-------------------------|-----|-----|-------|
| 障害福祉サービス |                         |     |     |       |
|          | 短期入所事業                  | 371 | 409 | 780   |
|          | 共同生活援助事業(GH)            | 44  | 27  | 71    |
| 地域生活支援事業 |                         |     |     |       |
|          | 日中一時支援事業                | 311 | 15  | 326   |
| その他委託事業  |                         |     |     |       |
|          | 障害児等療育支援事業              | 346 | 226 | 572   |
|          | 基幹相談支援センター事業<br>(由利本荘市) |     |     | 2,753 |
|          | 障害者就業・生活支援センター<br>事業    |     |     | 2,606 |

\* 共同生活援助事業(入居者数)以外は延べ人数で表記、( )内は登録者数

## ○健康管理

診療所を中心に診療や検診による疾病の早期発見、早期治療に努め、インフルエンザワクチンや利用者へのタミフル予防投与などの感染症対策を行った。

創生支援課においてノロウィルスの集団感染が発生したが、適切に対処したことにより短期間で終息することができた。3月31日現在でインフルエンザ発生4名、ノロウィルス発生は15名だった。

死亡退所は15名であり、全員を診療所で看取った。ターミナルケアを必要とする利用者は年々増加している。また、高齢化・重度化に伴い痰吸引を必要とする利用者が増え、指導看護師による研修を経て資格取得した2名の支援員が口腔内の痰吸引を実施している。

## ○地域交流・社会参加

主要行事であるコロニー祭、夏祭りを告知し、ボランティアの参加を呼びかけ交流につなげた他、地域ボランティアグループの活動も受け入れた。地域住民への施設機能の提供としては、体育館を開放し117件、延べ987名の利用があった。また、陶芸教室や果樹もぎ取り体験を通して保育園児や高齢者施設の利用者との交流も深めた。実習・研修では、学生を中心に7件100名を受け入れた。

地域貢献活動として、由利本荘市及びにかほ市の中・高校生を対象にした「職場体験学習受け入れ事業」と「高校生福祉セミナー」を開催、同じく由利本荘市及びにかほ市在住の障がい児・者（ひきこもり含む）を対象とした「障がい児・者ふれあい交流事業」を開催し、介護等の体験や施設利用者、在宅障がい者とのふれあいを通じて、障がい者への理解を深める機会の提供に努めた。

## ○苦情解決処理状況

今年度の苦情受付総件数は8件で、被害・損害に関するものが1件、サービス内容に関するものが3件、説明・情報提供に関するものが1件、その他3件であった。申出に対して速やかに対応し申出者へ回答するとともに、3月に第三者委員へ処理状況を報告し助言を得た。

【利用者の状況】

○出身市町村

【施設入所】

| 市町村   | 男女別 |     | 計   |
|-------|-----|-----|-----|
|       | 男   | 女   |     |
| 秋田市   | 39  | 29  | 68  |
| 北秋田市  |     | 1   | 1   |
| 潟上市   | 6   | 2   | 8   |
| 能代市   | 10  | 10  | 20  |
| 横手市   | 20  | 22  | 42  |
| 大館市   | 1   | 1   | 2   |
| 由利本荘市 | 55  | 51  | 106 |
| 男鹿市   | 10  | 6   | 16  |
| 湯沢市   | 6   | 7   | 13  |
| 大仙市   | 17  | 9   | 26  |
| 仙北市   | 7   | 3   | 10  |
| にかほ市  | 14  | 10  | 24  |
| 藤里町   |     | 1   | 1   |
| 三種町   | 3   | 6   | 9   |
| 五城目町  | 2   | 1   | 3   |
| 八郎潟町  | 1   | 1   | 2   |
| 井川町   | 1   | 1   | 2   |
| 美郷町   | 6   | 6   | 12  |
| 羽後町   | 3   | 5   | 8   |
| 東成瀬村  |     |     | 0   |
| 小計    | 201 | 172 | 373 |

平成28年3月31日現在

| 市町村 | 男女別 |   | 計 |   |
|-----|-----|---|---|---|
|     | 男   | 女 |   |   |
| 県外  | 秦野市 |   | 1 | 1 |
|     | 柏市  | 1 |   | 1 |
|     | 足立区 | 1 |   | 1 |
|     |     |   |   |   |
| 小計  | 2   | 1 | 3 |   |

|    | 男女別 |     | 計   |
|----|-----|-----|-----|
|    | 男   | 女   |     |
| 合計 | 203 | 173 | 376 |

【共同生活援助（GH）】

| 市町村   | わかまつ | やすらぎ | そよかぜ | わかば | はまなす | まつかぜ | しおさい | あおぞら | ひだまり | お月森 | やまと | なでしこA | なでしこB | かもめ | はまやま | 計  |
|-------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|-------|-------|-----|------|----|
|       | 男    | 男    | 女    | 女   | 男    | 男    | 女    | 男    | 女    | 男   | 男   | 女     | 女     | 男   | 男    |    |
| 秋田市   |      |      | 1    | 1   | 1    |      | 1    |      |      |     | 1   | 1     |       |     | 1    | 7  |
| 北秋田市  |      |      |      |     |      |      |      |      |      |     |     |       |       |     |      | 0  |
| 潟上市   |      |      |      |     |      |      |      |      |      |     |     |       | 1     |     |      | 1  |
| 能代市   |      |      |      |     |      | 2    |      | 1    |      |     | 1   |       |       |     |      | 4  |
| 横手市   | 1    | 1    |      |     |      |      |      |      | 1    |     |     |       |       |     | 2    | 5  |
| 大館市   |      |      |      |     |      |      |      |      |      |     |     |       |       |     |      | 0  |
| 由利本荘市 | 3    | 1    | 1    | 2   |      | 2    | 2    | 2    | 3    | 2   |     | 2     | 2     | 3   | 1    | 26 |
| 男鹿市   |      | 1    |      |     |      |      | 1    |      |      | 1   |     |       |       |     |      | 3  |
| 湯沢市   | 1    | 1    |      |     | 1    | 1    | 1    |      |      | 2   | 1   |       |       |     |      | 8  |
| 大仙市   |      | 1    |      |     | 1    |      |      |      | 1    |     |     |       | 1     | 2   | 1    | 7  |
| 仙北市   |      |      |      |     |      |      |      |      |      |     |     |       |       |     |      | 0  |
| にかほ市  | 1    |      | 1    |     |      |      |      | 1    |      |     |     |       |       |     |      | 3  |
| 藤里町   |      |      |      |     |      |      |      |      |      |     |     |       |       |     |      | 0  |
| 三種町   |      |      |      |     |      |      |      |      |      |     |     |       |       |     |      | 0  |
| 五城目町  |      | 1    | 1    |     |      |      |      |      |      |     |     | 1     | 1     |     |      | 4  |
| 八郎潟町  |      |      |      |     |      |      |      |      |      |     |     |       |       |     |      | 0  |
| 井川町   |      |      |      |     |      |      |      |      |      |     |     |       |       |     |      | 0  |
| 美郷町   |      |      |      | 1   | 1    | 1    |      |      |      |     |     |       |       |     |      | 3  |
| 羽後町   |      |      |      |     |      |      |      |      |      |     |     |       |       |     |      | 0  |
| 東成瀬村  |      |      |      |     |      |      |      |      |      |     |     |       |       |     |      | 0  |
| 合計    | 6    | 6    | 4    | 4   | 4    | 6    | 5    | 4    | 5    | 5   | 3   | 4     | 5     | 5   | 5    | 71 |

【診療所】

|        | 年度                         | 23年度 | 24年度    | 25年度    | 26年度    | 27年度    |         |
|--------|----------------------------|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 医<br>科 | 診療日数                       | 242日 | 241日    | 240日    | 242日    | 239日    |         |
|        | 延<br>べ<br>受<br>診<br>者<br>数 | 利用者  | 17,660人 | 15,398人 | 14,058人 | 13,222人 | 11,904人 |
|        |                            | その他  | 427人    | 497人    | 470人    | 264人    | 224人    |
|        |                            | 計    | 18,087人 | 15,895人 | 14,528人 | 13,486人 | 12,128人 |
| 歯<br>科 | 診療日数                       | 78日  | 76日     | 78日     | 73日     | 80日     |         |
|        | 延<br>べ<br>受<br>診<br>者<br>数 | 利用者  | 835人    | 690人    | 719人    | 656人    | 707人    |
|        |                            | その他  | 3人      | 3人      | 11人     | 2人      | 0人      |
|        |                            | 計    | 838人    | 693人    | 730人    | 658人    | 707人    |
| 計      | 診療日数                       | 320日 | 317日    | 318日    | 315日    | 319日    |         |
|        | 延<br>べ<br>受<br>診<br>者<br>数 | 利用者  | 18,495人 | 16,088人 | 14,777人 | 13,878人 | 12,611人 |
|        |                            | その他  | 430人    | 500人    | 481人    | 266人    | 224人    |
|        |                            | 計    | 18,925人 | 16,588人 | 15,258人 | 14,144人 | 12,835人 |

## (6) 地域生活支援センターみずばやし

### ○施設運営

#### 1) 利用状況

宿泊型自立訓練（定員10名）の平均利用率は96%であり、前年度より3%の増である。3月に新規グループホーム2棟を開所し、1棟を廃止したことにより、グループホームの定員が5名増となっており、3月末現在3名がグループホームの体験利用を実施し、平成28年4月1日よりグループホームへ移行予定となっている。また、平成28年4月に4棟のグループホームを増設予定となっており、更に4名がグループホームの体験利用を実施する予定となっている。相談支援事業所や特別支援学校と連携を図り、3月に2名が利用契約を締結し利用開始しており、4月以降の利用見込みは2名、3月末現在で欠員は1名となっている。

グループホーム（H27.4～H28.2〔10棟 定員48名〕 H28.3～〔11棟 53名〕）の平均利用率は96.7%となっており、前年度の96.8%とほぼ同じ利用率となっている（入院10名 延入院日数175日）。3月末現在、宿泊型自立訓練より3名がグループホームの体験利用を実施し、平成28年4月1日よりグループホームへ移行予定である。

日中活動サービスの提供日については、昨年度と同様に祝祭日等の各種イベントへの参加を営業日とし稼働日数の増に努めたものの、インフルエンザの発生に伴い休業日となったこともあり、稼働日数は247日と前年度の258日より9日の減となった。

就労継続支援B型（利用定員14名）については、生活訓練からの移行による2名の新規契約の他、相談支援事業所と連絡調整を図ることで、在宅者4名の新規契約に繋がった。しかし、就労継続支援A型（農業関係）に1名、一般就労（畜産関係、食品加工）へ2名、他事業所へ1名が移行したこともあり、平成28年3月末現在登録者は27名、平均利用率は98.7%であり、昨年度よりも7.3%の減となっている。

生活訓練（利用定員6名）については、平成27年3月にゆり養護学校卒業生1名と新規契約を結んだものの、他事業所への移行、支給決定期間の終了などにより、3月末現在登録者は0名であり、平均利用率は8.9%と前年度よりも低い数値となっている。現在、相談支援事業所や他事業所と連携を図り、平成28年4月より2名の新規契約を予定している。

#### 2) 地域生活支援

宿泊型自立訓練の利用者については、家事等の日常生活能力の向上及び、職場定着に向けた支援を行いながら地域生活移行を検討、体験利用を実施し、3月末現在3名の利用者がグループホームの体験利用中であり、平成28年4月よりグループホームに移行予定である。また、平成28年4月より4名がグループホーム体験利用予定である。

グループホーム等の利用者については、サーチライトの設置による居住環境の安全面の整備の他、建物内の不具合のある箇所について迅速に対処するよう努めた。また、就労先への訪問や連絡調整、必要に応じた本人への聴き取りを通し、就労状況の把握に努めながら就労継続に向けた支援を実施した。

通院等については、看護師の付き添いにより病状の詳細を把握し、職員間で対応を周知した上で、利用者へ食事や嗜好品についての助言等を行った。

### 3) 就労支援

就労継続支援B型事業では、ネーム刺繍や灯籠作り、おみくじ折りの他、他事業所の清掃業務や除草作業、宅配寿司専門店からの箸等の小分けセット作業、フルーツキャップの梱包作業、各種イベントでの手工芸品の即売を実施した。平均月額支給工賃については、前年度比107%の総額6,389円と前年度(5,936円)よりも向上している。

また、障害者就業・生活支援センターとの連携を図り、就労継続支援B型利用者のうち2名が一般就労、1名が就労継続支援A型の利用に繋がった。

### 4) 経営改善計画の推進

相談支援事業所と連携を図ることで、新規利用者の獲得に努めたものの、今年度の生活訓練の新規契約には至らなかったが、平成28年4月から2名の新規契約を予定している。また、事業団事務局と連携を図り、建築基準法に適合する2棟の新規グループホームが3月から開所となり、建築基準法に適合しないグループホームからの移転及び宿泊型自立訓練からの移行に繋がった。更に平成28年4月より新たに4棟のグループホームを開所予定である。

## ○施設支援

自立訓練利用者が地域生活を送る為に必要な対人関係、金銭管理、健康管理、職場定着、福祉サービスの利用等社会資源の活用に関する支援を行った。

また、各事業の満足度調査を実施し、集計結果を職員に周知することでサービスの質の向上に努めたほか、サービス管理責任者検討会議を開催し、個別支援計画の内容の充実に努めた。

3月には今年度より設置した虐待防止委員会を開催している。

## ○健康管理

宿泊型自立訓練利用者及びグループホーム利用者の日々の体調把握に努め、必要に応じて看護師及び各医療機関と連携を図り対応した。

昨年度と同様に感染症予防に関する研修を実施したほか、県内の感染症発生状況について職員間で情報共有に努めることで、感染症に対する意識を高めた。

利用者の高齢化による転倒防止を図る為、転倒防止アセスメントシートを整備した。

## ○地域社会

近隣地域主催の行事（市主催のクリーンアップ・運動会・一斉清掃デー・盆踊り等）についての情報提供を行い、多くの利用者が地域交流を図る機会を得ることができた。

また、特別支援学校の実習生（2名）のほか、随時体験利用や見学の受け入れを行うことで地域社会への貢献に努めた。

## ○苦情解決処理状況

苦情受付件数は1件（グループホーム利用者に関する近隣住民からの申し出）であった。申し出については速やかに対応し、苦情解決に努めた。

○利用状況（平成28年3月31日現在）

1. 宿泊型自立訓練利用状況

| 区分<br>援護の実施者 | 男     | 女 | 計     |
|--------------|-------|---|-------|
| 秋田市          | 1     | 0 | 1     |
| 由利本荘市        | 8 (2) | 0 | 8 (2) |
| 美郷町          | (1)   | 0 | (1)   |
| 計            | 9 (3) | 0 | 9 (3) |

※ ( ) ～グループホーム体験利用者3名

2. 日中活動サービス（就労継続支援B型、自立訓練（生活訓練））  
利用（登録）状況

| 区分<br>援護の実施者 | 男  | 女  | 計  |
|--------------|----|----|----|
| 秋田市          | 1  | 1  | 2  |
| 由利本荘市        | 10 | 6  | 16 |
| にかほ市         | 1  |    | 1  |
| 湯沢市          | 1  |    | 1  |
| 能代市          | 1  |    | 1  |
| 横手市          |    | 1  | 1  |
| 大潟村          | 1  |    | 1  |
| 美郷町          | 1  |    | 1  |
| 五城目町         |    | 1  | 1  |
| 平塚市          |    | 1  | 1  |
| 大仙市          | 1  |    | 1  |
| 計            | 17 | 10 | 27 |

### 3. 共同生活援助利用状況

| 援 護 の<br>実 施 者 | 翼 | 清<br>和 | め<br>ぐ<br>み | そ<br>ら | 虹 | 三<br>愛<br>A | 三<br>愛<br>B | 菖<br>蒲 | 若<br>菜 | 御<br>門<br>A | 御<br>門<br>B | 計     |    |       |
|----------------|---|--------|-------------|--------|---|-------------|-------------|--------|--------|-------------|-------------|-------|----|-------|
|                | 男 | 男      | 女           | 男      | 女 | 男           | 男           | 男      | 女      | 男           | 男           | 男     | 女  | 合計    |
| 秋田市            |   | 1      | 2           |        | 1 |             | 1           |        |        |             | 1           | 3     | 3  | 6     |
| 横手市            |   |        |             |        |   |             |             | 1      | 1      |             |             | 1     | 1  | 2     |
| 由利本荘市          | 1 | 2      | 1           | 1      | 2 | 2           | 1           | 1(1)   | 2      | 1(1)        | 1           | 10(2) | 5  | 15(2) |
| 男鹿市            |   |        |             |        |   |             |             |        |        | 1           |             | 1     |    | 1     |
| 湯沢市            |   |        |             | 2      |   |             | 1           | 1      |        |             |             | 4     |    | 4     |
| 大仙市            | 1 |        |             |        |   | 1           |             |        |        |             | 1           | 3     |    | 3     |
| 大館市            |   |        |             |        |   |             |             |        |        |             | 1           | 1     |    | 1     |
| 大潟村            |   |        | 1           |        |   |             | 1           |        |        |             |             | 1     | 1  | 2     |
| にかほ市           | 2 |        |             | 2      |   |             | 1           |        |        | 1           |             | 6     |    | 6     |
| 羽後町            |   |        |             |        | 1 | 1           |             |        |        |             |             | 1     | 1  | 2     |
| 美郷町            |   |        |             |        |   | 1           |             | (1)    | 1      |             | 1           | 2(1)  | 1  | 3(1)  |
| 五城目町           |   |        |             |        |   |             |             |        | 1      |             |             |       | 1  | 1     |
| 潟上市            |   |        |             |        |   |             |             |        |        | 1           |             | 1     |    | 1     |
| 平塚市            |   |        | 1           |        |   |             |             |        |        |             |             |       | 1  | 1     |
| 計              | 4 | 3      | 5           | 5      | 4 | 5           | 5           | 3(2)   | 5      | 4(1)        | 5           | 34(3) | 14 | 48(3) |

※ ( ) ～グループホーム体験利用者3名

## (7) 秋田県阿桜園

### ○施設運営

#### 1) 利用状況

施設入所支援においては、児童棟の経過的施設入所支援利用者（女子）が1名移行したことにより68名の在籍であった。また、利用希望のあった方に対し、短期入所サービスを活用することで、サービスを体験する機会を設けたが、まだ利用には至っていない。

生活介護は、入所者67名と通所利用者7名の74名が利用し、生活訓練は施設入所者1名が利用した。

児童施設では、新規に1名が措置入所となり在籍43名となった。

園全体では111名の利用となっている。

#### 2) 地域生活移行

グループホーム「希望」を建築基準法に適合する建物に転居し、定員を1名増員した。施設入所支援を利用している方及び家族に対し、地域移行のアンケート調査を実施し、地域移行を希望する方が体験利用を行ったが、グループホームの利用には至っていない。

ほか2棟のグループホーム建物については、新規建築を視野に検討を行った。

#### 3) 就労支援

グループホーム等を利用しながら就労している方に対して、月1回職場訪問を実施し、本人の状況について情報交換を行いながら勤務日の調整等を行うことで、継続して就労できるよう支援を行った。

また、就労しながら地域での生活を継続していくことができるよう、就労継続支援B型事業の利用に関する情報提供や生活費の見直し等の支援を行った。

#### 4) 経営改善計画の推進

平成27年度より、日中一時支援事業の放課後支援部分を放課後等デイサービス事業として運営形態を変更し事業を展開した。また、生活介護事業の職員配置数を増やすための予算措置を行い、配置職員数を増やし、人員配置体制加算を上位変更したことにより、事業収支の改善を推進し、より安定した施設経営の確立に努めた。

### ○施設支援

支援課成人棟利用者の状況は、施設入所支援68名、生活介護67名、生活訓練1名である。利用者の高齢化・重度化への対応として、定期的に衣服や履物及び居住スペースの点検実施し、必要に応じて移動マットの利用や車椅子の整備確保を行

うことで、安全に生活できるよう住環境の整備を図った。

支援課児童棟利用者の状況は、経過的生活介護が37名、就学児童生徒は新規に1名が措置入所したことにより6名となり、在籍は43名となった。次年度は高等部2名が卒業することにより、就学児童が4名となり、高等部卒業生1名が他施設へ入所するため、在籍数は42名となる予定である。

より良いサービスを提供するために、利用者を対象に満足度調査や嗜好調査を実施し、その結果を共有することで、今後の運営に反映させていく。

## ○居宅支援・その他の委託事業

短期入所・日中一時支援事業においては、利用者のニーズに即したサービス提供ができるよう、受け入れ環境の充実を図り実施した。

障害児等療育事業では、訪問療育事業23件、外来療育事業414件、療育技術指導事業12件の実施であった。

相談支援事業においては、指定計画相談支援の件数が増えており、契約者246名に対しサービス利用支援、継続サービス利用支援を実施した。

重症心身障害者を対象とした生活介護事業は、利用定員5名に対して平均利用が3.2名であり、昨年より利用者数は減少している。要因としては、体調不良や短期入所サービス利用による欠席が増加したことが考えられる。

重症心身障害児を対象とした放課後等デイサービス事業については、長期休業中の希望が多くあり、生活介護利用者との調整を図りながら受入れを行った。生活介護利用者の欠席が増えたために、放課後等デイサービス事業利用者の受入れが可能となったため、昨年より増加している。

重症心身障害児を対象とした児童発達支援事業については、1名が契約しており、定期的にサービスを利用している。

重症心身障害児者を対象としたサービスについては、医療行為を必要とする利用者が4名おり、看護師と連携を図りながら受入れに努めるとともに、スタッフが介護職員等によるたん吸引等研修を受講し認定特定行為業務従事者の資格を取得し、特定の医療行為を行う体制を整備し、適切に喀痰吸引業務を行うことで、受入れ態勢の整備を図った。

新規事業として、横手市地域生活支援事業に基づく障がい児者デイサービス事業（学校放課後及び長期休業中の利用部分）を、平成27年度から児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業（定員10名）に移行した。開始当初は8名の契約者であったが、新規に3名増え、11名が登録している。特定の曜日のみの利用、長期休業のみの利用等、利用する方のニーズに併せた利用形態であり、一日平均利用者数は6名程度である。

## 〔居宅支援事業等実施状況〕

〔平成28年3月31日現在〕

| 事業名              |                           | 男       | 女      | 計        |
|------------------|---------------------------|---------|--------|----------|
| 障害福祉サービス・障害児通所支援 |                           |         |        |          |
|                  | 短期入所事業                    | 116     | 77     | 193      |
|                  | 共同生活援助事業(GH)              | 8       | 5      | 13       |
|                  | 生活介護(重症心身障害者)             | 382(8)  | 404(5) | 786(13)  |
|                  | 放課後等デイサービス事業<br>(重症心身障害児) | 90(4)   | 17(2)  | 107(6)   |
|                  | 児童発達支援事業<br>(重症心身障害児)     | 42(1)   | 0      | 42(1)    |
|                  | 放課後等デイサービス事業              | 1035(8) | 417(3) | 1452(11) |
|                  | 計画相談支援                    | 273     | 52     | 325      |
| 地域生活支援事業         |                           |         |        |          |
|                  | 日中一時支援事業                  | 213     | 80     | 293      |
|                  | 相談支援事業                    | 223     | 67     | 290      |
| その他委託事業          |                           |         |        |          |
|                  | 障害児等療育支援事業                | 346     | 226    | 572      |

\* 共同生活援助事業（入居者数）以外は延べ人数で表記、（ ）内は登録者数

## ○健康管理

嘱託医や各医療機関と連携を図り、利用者の健康管理に努めた。

通院関係は、通院延べ人数1,117名（昨年度比18名増）、救急受診者11名（昨年度比1名増）、付き添い職員数835名（昨年度比53名増）、入院4名（昨年度比6名減）、述べ入院日数43日（昨年度比302日減）であった。精神科疾患等による長期入院がなかったことにより入院日数が大きく減少している。また通院については、疾患により頻回の通院を要するケースがあったため、延べ人数、付き添い職員数とも増加している。

7月に感染性胃腸炎の集団感染（利用者10名、職員2名）があったが、嘱託医、保健所の指導・助言を得て防止対策に努めたことにより、重症者を出すことなく終息した。

感染症が多く発生する冬期間については、事前に感染症予防研修を実施し、職員への注意喚起を図ることにより、集団感染を防ぐことが出来た。

## ○地域交流・社会参加について

園行事の夏祭りには、利用者・家族、地域住民・ボランティアを含めて96名、阿桜園祭には93名が参加し、利用者と楽しむ機会を設けたほか、ボランティアと花植えを行うことで、地域住民との交流を図ることができた。

地域奉仕活動では、利用者自治会が中心となり、職員とともに幹線道路のゴミ拾い活動を行うとともに、定期的に横手駅前、バス停の清掃活動を実施した。

地域貢献活動として、地域の方へ余暇活動の場を提供し、自宅からの送迎を行うことで希望する方が参加しやすいよう配慮し、5月から10回制作活動の支援を実施した。年度末に参加者に対してアンケート調査を行ったところ、来年度も参加したいとの意見が多く寄せられ、アンケート結果を基に今後の地域貢献活動の内容等について検討を行った。

### ○苦情解決処理状況

苦情受付件数は2件(家族)であった。

2件とも職員のサービス内容に関してのものであり、内容を真摯に受け止め、改善内容を説明するとともに、サービス内容の自己点検を実施し、年度末には、第三者委員への苦情報告会を開催し、状況報告と助言を得る場を設けた。

利用者から相談を聴く場として、「何でも相談日」を毎月1回実施し、ニーズの把握に努めた。

### ○虐待防止委員会について

10月から委員に保護者、利用者代表を追加したが、虐待に関する報告は寄せられなかった。また、虐待防止チェックリストへの記載を全職員が実施し、その結果を基に虐待防止研修会を実施した。

利 用 実 施 状 況 調

平成28年3月31日現在

【施設入所：成人】

| 区分<br>市町村        |     | 男 女 別 |    | 合計 |
|------------------|-----|-------|----|----|
|                  |     | 男     | 女  |    |
| 県<br>内<br>市      | 横手市 | 21    | 10 | 31 |
|                  | 湯沢市 | 5     | 3  | 8  |
|                  | 大仙市 | 8     | 6  | 14 |
|                  | 仙北市 | 4     | 3  | 7  |
|                  |     |       |    |    |
|                  |     |       |    |    |
|                  | 小計  | 38    | 22 | 60 |
| 県<br>内<br>町<br>村 | 羽後町 | 1     | 1  | 2  |
|                  | 美郷町 | 4     | 1  | 5  |
|                  |     |       |    |    |
|                  | 小計  | 5     | 2  | 7  |
| 県<br>外           | 足立区 |       | 1  | 1  |
|                  | 小計  |       | 1  | 1  |
| 合 計              |     | 43    | 25 | 68 |

【施設入所：児童】

| 区分<br>市町村        |       | 男 女 別 |   | 合計 |
|------------------|-------|-------|---|----|
|                  |       | 男     | 女 |    |
| 県<br>内<br>市      | 横手市   | 15    | 3 | 18 |
|                  | 湯沢市   | 5     | 2 | 7  |
|                  | 大仙市   | 7     | 2 | 9  |
|                  | 仙北市   | 1     |   | 1  |
|                  | 潟上市   |       | 1 | 1  |
|                  | 由利本荘市 | 1     |   | 1  |
|                  | 小計    | 29    | 8 | 37 |
| 県<br>内<br>町<br>村 | 羽後町   | 2     |   | 2  |
|                  | 美郷町   | 2     | 1 | 3  |
|                  | 東成瀬村  | 1     |   | 1  |
|                  | 小計    | 5     | 1 | 6  |
| 県<br>外           |       |       |   |    |
|                  | 小計    |       |   |    |
| 合 計              |       | 34    | 9 | 43 |

【共同生活援助】

| 市 町 村 | 希 望 | あ さ ひ | あ ざ み | 計  |
|-------|-----|-------|-------|----|
|       | 男   |       | 女     |    |
| 横手市   | 2   | 2     | 2     | 6  |
| 湯沢市   |     |       | 1     | 1  |
| 由利本荘市 | 1   |       |       | 1  |
| 大仙市   |     | 1     | 2     | 3  |
| 仙北市   |     | 1     |       | 1  |
| 美郷町   | 1   |       |       | 1  |
| 合 計   | 4   | 4     | 5     | 13 |

## (8) やまばと園

### ○施設運営

#### 1) 利用状況

施設入所支援（定員50名）については、年度当初は51名であった。5月に1名がグループホーム入居のため退所し50名となる。

福祉型障害児入所施設については、定員より2名欠員の8名であったが、12月に1名が家庭復帰した。3月に秋田市より1名入所となり現員8名である。

在宅（GH含む）からの日中活動利用者は、生活介護で3名が増となり、在宅利用者が18名となった。

#### 2) 地域生活移行

5月にグループホーム「のどか」に1名が入居となる。

現在の2棟のグループホームが、平成29年度末までに関係法令に適合することができるよう、賃貸物件対応の可否について市内建設会社・不動産仲介業者に打診した。

#### 3) 就労支援

稲川養護学校（現稲川支援学校）と連携して、高等部3年生1名が地域の就労移行支援事業を利用することとなった。また、以前より一般就労しているグループホーム利用者については、定期的に職場訪問を行い、就労上の様々な相談を受け、助言を行うことで仕事に対する意欲の維持及び向上を図った。

#### 4) 経営改善計画の推進

財政基盤の強化として、引き続き日中活動事業利用者の受け入れ促進を継続した。また、放課後等デイサービス事業の実施について検討を行い、その準備を進め、平成28年度に開始することとした。

支出の抑制として、前年度に引き続き利用者サービスに支障がない範囲内で経費節減に努め、照明のLED化を推進した。

地域公益活動として、ひきこもりの障がい者を対象とした集いの場の提供を行った。

### ○施設支援

施設入所支援50名、生活介護59名（うち在宅10名、GH4名）、生活訓練は4名、就労継続支援B型9名（うち在宅2名、GH4名）が利用している。

施設入所支援では、55歳以上の中高年層で、身体機能の低下による車イスの使用など、より介護を要する利用者が増加している。生活介護においても利用者の高齢化等に伴う重度化が見られるなど、支援内容の見直しが課題となっている。

このため、平成28年度からの事業団5カ年経営計画において、利用者の高齢化への対応を実施していくことにしている。

生活訓練は前年同様4名である。就労継続支援事業B型では利用者が2名減っ

て9名となった。平均工賃は2,922円で目標の4,000円を上回ることができなかったが、石鹼製品等の販路拡大を目指し、他施設の行事や地域の大型イベントへ積極的に出店し実演販売を行うなど、収益アップとPR活動に努めた。

福祉型障害児入所施設の就学児3名に対しては、特別支援学校と定期的に情報交換を行い、様々な活動を通して基本的な生活習慣及び社会性の向上に努めた。

## ○居宅支援・その他の委託事業

平成27年度は継続して湯沢市、羽後町、東成瀬村の相談支援事業と湯沢市、羽後町、横手市、東成瀬村の日中一時支援事業を受託したほか、新たに美郷町の日中一時支援事業を受託した。それにより昨年度以上に地域における在宅支援の積極的な受け入れに努めた。

短期入所・日中一時支援事業の利用では、個別対応を要したり、緊急性のある利用者が増加し、居室の確保や職員配置の調整等受け入れ態勢の構築を要するなど課題もみられた。

いずれのサービスにおいても関係機関等との調整を図りながら、利用者ニーズに沿ったサービスを目指し、柔軟な対応に努めた。

[居宅支援事業等実施状況]

[平成28年3月31日現在]

| 事業名      |                         | 男     | 女   | 計     |
|----------|-------------------------|-------|-----|-------|
| 障害福祉サービス |                         |       |     |       |
|          | 短期入所事業                  | 108   | 89  | 197   |
|          | 共同生活援助事業(GH)            | 5     | 5   | 10    |
|          | 計画相談支援                  | 136   | 95  | 231   |
| 地域生活支援事業 |                         |       |     |       |
|          | 日中一時支援事業                | 708   | 337 | 1,045 |
|          | 日中一時支援事業<br>(放課後及び長期休業) | 1,186 | 804 | 1,990 |
|          | 相談支援事業                  | 459   | 171 | 630   |
| その他委託事業  |                         |       |     |       |
|          | 障害児等療育支援事業              | 310   | 254 | 564   |

\* 共同生活援助事業（入居者数）以外は延べ人数で表記

## ○健康管理

嘱託医による内科検診や医療相談、医療機関での利用者の定期受診を行い、また、職員健康診断や産業医による巡回を実施し、利用者との健康管理に努めた。

感染症に関しては、2年続けて5月に感染性胃腸炎が発生したことを受け、

通所利用者等からの感染症の発生を防ぐために感染症対策リーフレットを作成し、個別に面談を行い感染症予防に関する説明を行った。また、今後も感染症防止マニュアルを再確認し、利用者の受入時の健康チェック等を徹底することを全職員で確認した。

平成26年度より引き続き看護師が定期的にグループホームを訪問し、栄養士と連携して感染症予防、食事指導等健康指導を行った。

## ○地域交流・社会参加

園行事等には地域住民18人、ボランティア17人の参加を得たほか、天理教ボランティアとの花植え、栗拾い招待など地域住民との交流が継続された。また、湯沢市社会福祉協議会が運営する地域憩いの場の喫茶コーナーには利用者が給仕として参加し、地域住民と交流する機会となっている。社会貢献として、冬期間の除雪ボランティアへ登録したが、依頼はなかった。また稲川養護学校の環境美化運動に参加した。

実習面では、短大・専門学校など4校9名の学生を受け入れ、今後の福祉従事者の育成に努めた。また体験実習で稲川養護学校教職員1名を受け入れた。

## ○苦情解決処理状況

苦情申し出件数はサービス（職員の接遇）に関するものが1件であった。苦情委員会で内容を調査の上、申し出者へ回答し了解を得ることができた。3月には第三者委員への報告会を開催し、助言をいただいた。

また、利用者からの何でも聞きます会を毎月1回開催し、利用者のニーズ把握と支援内容の改善に努めた。

利用実施状況調

平成28年3月31日現在

【施設入所：成人施設】

| 市町村       |       | 区分 |    | 計  |
|-----------|-------|----|----|----|
|           |       | 男  | 女  |    |
| 県内<br>市町村 | 秋田市   |    | 3  | 3  |
|           | 北秋田市  | 1  |    | 1  |
|           | 潟上市   |    |    |    |
|           | 能代市   |    |    |    |
|           | 横手市   | 5  | 3  | 8  |
|           | 大館市   |    |    |    |
|           | 由利本荘市 | 2  |    | 2  |
|           | 男鹿市   |    |    |    |
|           | 湯沢市   | 15 | 4  | 19 |
|           | 大仙市   | 1  |    | 1  |
|           | にかほ市  |    |    |    |
|           | 鷹巣町   |    |    |    |
|           | 美郷町   | 1  | 1  | 2  |
|           | 羽後町   | 4  | 6  | 10 |
| 東成瀬村      |       | 1  | 1  |    |
| 県外        | 横浜市   |    | 1  | 1  |
|           | 伊東市   | 1  |    | 1  |
|           | 八王子市  |    | 1  | 1  |
| 合 計       |       | 30 | 20 | 50 |

【施設入所：児童施設】

| 市町村       |       | 区分 |   | 計 |
|-----------|-------|----|---|---|
|           |       | 男  | 女 |   |
| 県内<br>市町村 | 秋田市   | 1  |   | 1 |
|           | 北秋田市  |    |   |   |
|           | 潟上市   |    |   |   |
|           | 能代市   |    |   |   |
|           | 横手市   | 1  |   | 1 |
|           | 大館市   |    |   |   |
|           | 由利本荘市 |    |   |   |
|           | 男鹿市   |    |   |   |
|           | 湯沢市   | 3  | 1 | 4 |
|           | 大仙市   |    |   |   |
|           | にかほ市  |    | 1 | 1 |
|           | 鷹巣町   |    |   |   |
|           | 美郷町   |    |   |   |
|           | 羽後町   | 1  |   | 1 |
| 東成瀬村      |       |    |   |   |
| 県外        | 横浜市   |    |   |   |
|           | 伊東市   |    |   |   |
|           | 八王子市  |    |   |   |
| 合 計       |       | 6  | 2 | 8 |

【共同生活援助（グループホーム）】

| 市町村   |  | 区分    |     | 計  |
|-------|--|-------|-----|----|
|       |  | バッテリー | のどか |    |
|       |  | 男     | 女   |    |
| 由利本荘市 |  |       | 1   | 1  |
| 湯沢市   |  | 3     | 3   | 6  |
| にかほ市  |  | 1     |     | 1  |
| 美郷町   |  |       |     |    |
| 羽後町   |  | 1     | 1   | 2  |
| 合 計   |  | 5     | 5   | 10 |

## (9) 秋田県身体障害者更生訓練センター

### ○施設運営

#### 1) 利用状況

自立訓練（機能訓練型）、生活介護、施設入所支援、短期入所、日中一時支援の各サービスを提供した。

その結果、自立訓練から生活介護サービスへ移行した方は11人、年間の平均利用者数は施設入所支援が46.8人で、定員に対して78%、自立訓練が23.9人と定員に対して79.6%、生活介護が30.1人で定員に対して75.2%であった。全体的には、8割近い利用率となっている。

また、利用者数に関しては入所10名、退所21名、通所では新規利用5名、利用終了5名となっている。

#### 2) 経営改善計画の推進

県内各市町村及び医療機関等関係機関への訪問を実施し、利用促進に努めたが、自立支援給付費収入は減少している。新たな5ヵ年経営計画では、平成31年度から法人施設として移転改築し、障害福祉サービスに介護保険事業を加えた事業を検討している。

光熱水費の削減については、使用量を職員に周知することで経費の節減を呼び掛けた結果、全体的に使用量の削減につながっている。

### ○施設支援

#### 1) 自立（機能）訓練（定員30名）

##### ○作業療法

嘱託医の指示及び支援計画検討会議をうけ個別訓練を実施、1コマの人数を少なくし、マンツーマン対応に近い状況を目指した。「家庭復帰」、「単身生活」を現実的に目指す利用者の支援を積極的に行い、自主的な取り組みが可能となるような支援を心がけた。

OT集団訓練については、言語訓練のグループと利き手交換を主としたグループを作り、地域生活訓練の担当職員と共同で実施した。作業療法士が訓練内容を指示し、地域生活訓練の職員全員が関わる体制で取り組みを行った。また、言葉のリハビリの希望者の状況が幅広いために、今回は3グループで実施し、グループでの対応が難しいケースは、OT個別訓練の場面でのマンツーマンで対応を行っている。

来年度も、今年度同様将来の方向性として「家庭復帰」、「単身生活」を現実的に目指す方々への対応に重点を置き、セルフケアが可能となることを目標とし、OT集団訓練については、希望者の多い言葉の練習への対応を厚くするために、グループ数を増やし、個別訓練で対応している利用者については、状況に応じてグループ訓練への意向を検討していきたい。

## ○理学療法

嘱託医の処方及び支援計画検討会議に基づき、利用者に対し理学療法評価・訓練を実施するとともに、運動訓練の支援を行った。

新規利用者や身体症状に変化のあった利用者の訓練処方を受けるため、または、補装具購入費支給申請の医師の意見書作成のため嘱託医の診察に立会った。

(H28年3月現在 13件)

杖、下肢装具、車椅子等の新規作製時や修理の際は、必要に応じて医師や作業者と検討、適合状態をチェックし、市町村への補装具費購入・修理支給申請の手続きを支援した。各市町村の担当者から、入所利用者の車椅子、歩行器、歩行補助杖(既製品での対応のみ)の購入申請については、施設備品で対応するように指導を受けている。そのため施設入所支援利用者については上記の福祉用具を必要とする場合、施設備品の長期間(場合によっては入所期間)貸し出しとなり、使用中の故障、破損の費用が増加傾向にある。これに対応するための福祉用具の貸し出し規程を作成し、次年度より運用していく予定である。

理学療法の個別訓練の実施は、自立訓練の利用者を中心に行い、生活介護の利用者については身体機能の維持や地域移行に向けて必要な場合に限り、運動訓練や自己訓練として行っている。しかし、加齢や疾病の再発、怪我等の影響により日常生活動作の介助量が増加している利用者については、運動訓練、日常生活支援とも連携して今後も継続していく必要がある。

### 2) 生活介護(定員40名)

利用者の身体状況等に応じてグループに分かれ、各種の運動訓練(ストレッチ、腹筋運動、所内歩行等)を継続して行ったほか、利用者自身が選択して行う個別活動や、合同で行うレクリエーション的なグループ活動(風船バレー、卓上ゲーム等)も組み合わせながら機能低下防止に努めた。

### 3) 施設入所支援(定員60名)

新規利用件数は10件、退所者数は21名であり、特に年度末にかけて退所者数が多い傾向が見られた。退所後の生活の場としては、自宅・アパート・他事業所(障害者支援施設、通所施設、グループホーム、ケアハウス等)のほか、一般就労(職場復帰等)につながった利用者が2名であった。

### 4) 通所支援

年度を通じて15~20名の登録者数で推移し、一日当たりの利用者数も7~10名程度であったが、年度末にかけて若干の減少が見られた。

前年度と同様、3便体制で送迎を実施した。利用者の身体状況・生活状況に応じて、玄関から送迎車までの歩行見守り、車椅子を使用している方の乗降介助などを行ったほか、冬期間は送迎時間を早めるなど、利用者の便宜を図るよう努めた。

## 5) 相談支援

相談支援専門員2名専従体制で臨み、平成27年度末までに232件（新規15件、継続217件）と昨年度と比較し、73件の増加となった。すでに障害福祉サービスを利用している方のサービス等利用計画が落ち着いてきたため、新規利用者が減り、継続利用者の増加となっている。また、当施設の今後の方向性が出たことで介護保険サービスに移行し、特定相談支援事業の契約を解除した利用者も数名いた。

## ○居宅支援・その他の委託事業

地域移行を希望している方については、パンフレットの提供、更には施設見学等を実施して支援を行った。

委託事業としては、秋田市、由利本荘市から日中一時支援事業の委託を受けており、年間の利用実績は日中一時支援が延べ26件（実人数2名）、短期入所が延べ11件（実人数7名）と、ほぼ前年度並みで推移した。体調不良時に利用する方や、集中的に機能訓練を受けたいという方、センターの体験的な利用を通じて結果的に入所に至った方など、利用ニーズは様々であった。

## ○健康管理

春季健康診断59名、結核検診16名、視力検査57名、秋季健康診断57名、血圧測定は毎月実施した。

通院回数は年間延べ1,014件と昨年よりも増加しており、通院付添回数も年間延べ347件と増加傾向である。要因としては、病院での外来リハビリ目的が増えたことや疾病の多様化、合併症等の為複数の診療科目への通院が増えていることが挙げられる。

入院者については、延べ22名で昨年度より増加しており、入院者の内訳を見ると入退院を繰り返しているケースが増加している。救急受診者は6名で減少している。

感染症対策については、インフルエンザワクチン57名接種の他、手洗い、うがいの励行と県内感染症の動向に注意しながら注意喚起を促し、罹患者は見られなかった。

## ○地域交流・社会参加

実習生の受け入れは6大学19名、ボランティアの受け入れは2件23名となっている。今年度、スポーツレクリエーションに参加いただいたボランティアの方々には、事前に車椅子の仕組みや介助方法について、理学療法士から体験型の講義を行ったところ非常に好評であり、今後も続けて欲しいとの評価をいただく。

地域のコンビニエンスストアからの申し出から始まった出張販売の受け入れは、買い物することが難しい利用者への支援として、昨年同様、月1回行ったが、このことがきっかけで、店舗店員と顔見知りになった利用者が自分で外出し買い物するようになったケースもあった。

社会参加としては、地域で開催された心いきいき芸術文化祭やあきたアート展への作品出展や見学に出向いている。

また、今年度の新たな試みとして、施設の備品の貸し出し規定を作成し、機関誌等により貸し出しについての情報発信を行った。

来年度は、日常的なボランティアの活用を積極的に行うことを目的に、秋田市ボランティアセンターのホームページにボランティア募集の掲載をしていただくように連絡調整している。

## ○苦情解決処理状況

- ・受付件数 5 件（上半期 2 件、下半期 3 件）

内容の分類

サービス内容（職員の接遇） 3 件

その他 2 件

内訳；他利用者とのトラブル 2 件

- ・対応について

5 件のうち 3 件はサービス内容（職員の接遇）となっている。利用者個々の感受性もあるが、利用者のおかれた状況や心理的状況等に配慮していれば、ある程度は防げたと思われる。職員間で情報を共有し、全職員へ注意喚起するなど、職員の接遇改善やサービスの質の向上に努めた。

利用者間のトラブルに関しては、何度も話し合いを重ね、時間を要したが、職員の支援等もあり、お互い歩み寄り解決することができた。

今年度は、平成 26 年度の苦情受付件数より半減している。利用者の方々へ話しやすい雰囲気づくりを重点にしていたことが減少の要因と思われる。「話をきいてもらい良かった、すっきりした。」等の声も多く聞かれた。今後も引き続き、利用者の方々に寄り添った支援と話しやすい雰囲気づくりに努めていく。

# 利用者状況一覽

平成28年3月31日現在

## 1 利用者状況

|        |     |    |
|--------|-----|----|
| 障害支援区分 | 区分1 | 0  |
|        | 区分2 | 6  |
|        | 区分3 | 29 |
|        | 区分4 | 18 |
|        | 区分5 | 4  |
|        | 区分6 | 1  |
|        | 無   | 2  |
| 計      | 60  |    |

## 2 市町村別利用状況

|        | 性別 |    | 計  |
|--------|----|----|----|
|        | 男  | 女  |    |
| 秋田市    | 33 | 8  | 41 |
| 能代市    |    |    |    |
| 大館市    |    |    |    |
| 鹿角市    | 1  |    | 1  |
| 北秋田市   | 2  |    | 2  |
| 潟上市    | 1  |    | 1  |
| 男鹿市    | 4  |    | 4  |
| 由利本荘市  | 3  |    | 3  |
| にかほ市   |    |    |    |
| 大仙市    | 1  |    | 1  |
| 横手市    | 1  |    | 1  |
| 湯沢市    | 1  |    | 1  |
| 仙北市    |    |    |    |
| 羽後町    |    |    |    |
| 小坂町    |    |    |    |
| 五城目町   |    | 1  | 1  |
| 三種町    |    |    |    |
| 美郷町    | 1  | 1  | 2  |
| 藤里町    |    |    |    |
| 八峰町    |    |    |    |
| 東成瀬村   | 1  |    | 1  |
| 八郎潟町   |    |    |    |
| 岩手県奥州市 | 1  |    | 1  |
| 合計     | 50 | 10 | 60 |

## (10) 秋田県点字図書館

### ○利用状況

平成27年度の個人新規登録者数は9名、登録抹消者は5名で、登録者数は700名となる。新規登録は9名で例年と比較して大きな変化はなかった。抹消については本人ではなく家族からの連絡も多く、高齢により利用が困難になったケースも少なくないと思われる。利用登録団体数は現在378団体である。利用の拡大については各種団体の会合への出席、広報紙の配布をはじめ、市町村訪問等の広報活動や盲学校生徒への働きかけ等、PR活動の継続が必要と思われる。

奉仕者等による施設の利用状況については、録音室(4室)の延使用者は1,258名で利用率<sup>(注1)</sup>62%、研修室の延使用者は1,993名で利用率<sup>(注2)</sup>71%である。

図書の貸出件数は7,399タイトルで、前年度を987タイトル下回った。前年度比利用率は、点字図書12%減、デージー録音図書<sup>(注3)</sup>1.0%減、テープ録音図書34%減である。全貸出数に対するそれぞれの比率は、点字図書7.5%、デージー録音図書83.7%、テープ録音図書8.8%である。

点字図書の利用減少の要因は、触読利用者の高齢化によるものや、若年層についてはより多くの情報ツール(特にIT関係)に接して精通していることも推測される。テープ録音図書の利用者により多くの図書を提供するためにデージー移行を勧めているが、高齢の方が多いためなかなか進んでいないのが実情である。

<sup>(注1)</sup> 1室を午前と午後で延べ2名利用可能とする。故に1日最大延べ人数8名として算定した。

<sup>(注2)</sup> 2室ありパーティションを開けて多人数にも対応可能。利用率は年間の開館日数を基準に実利用日数から利用率を算定した。

<sup>(注3)</sup> デジタル規格の録音図書を「デージー録音図書」と呼ぶ。視覚障害者等のための録音図書は、著作者の許可を得ずとも作成でき、専用の再生機でのみ聞くことができる。同じデージー規格であるテキストデージーは文字をデータ化することにより、弱視の方でも文字を拡大して読み取ることが可能となり、さらにパソコンの合成音声で聴くこともできるものである。

### ○情報提供

- ・利用者等から電話等で語句に関する問い合わせがあった際は、その場で職員が調査し情報を提供した。(レファレンスサービス)
- ・電話リクエストによる利用者の希望する新聞記事の読み上げを月曜日に41回実施し、89件の情報を提供した。(テレホンニュースサービス)
- ・点字、録音、大活字、テキストデージーによる「点字図書館だより」を毎月発行し、年1回、機関紙「ひかり」を発行することにより、当館の新刊案内や新書の紹介等、その他の様々な情報提供を行った。

- ・視覚障害者情報機器等の展示会を10月に開催し、利用者や他の視覚障害者へ最新の情報機器の紹介と図書館サービス案内を行った。(参加業者 県内3社 参加者50名)
- ・点字&音訳定期刊行物を延べ10,816部発行し、様々な情報を提供した。
- ・利用者から依頼を受けての図書等製作や複製等のプライベートサービスを行い、個人が必要な情報を数多く提供した。  
製作(点訳88件・テープ0件・デージー36件・テキストデージー8件)  
複製(79件)
- ・業務概要と目録の追録を関係機関に郵送した。
- ・由利本荘市とにかほ市、男鹿市、潟上市、大潟村、八郎潟町、五城目町、井川町を訪問し、PRを兼ねて業務の説明を行った。

## ○図書の製作等

点字図書128タイトル(491冊)、デージー録音図書110タイトル(110枚)を製作し、蔵書として受け入れた。タイトル数は前年度比では1%(2タイトル)増で大きな変化はない。点字図書は、タイトル数としては少ないが、原本の頁数、文字数が大きく影響するものであり、結果的に冊数は多くなっている。対してデージー録音図書は一般図書であれば1枚の媒体(CD)にほぼ全て収録されるためこのような数値となる。

平成27年度分の蔵書に占める当館製作率は61%、厚生労働省等からの委託図書36%、購入0%、寄贈3%となっている。

## ○地域生活支援事業

- ・奉仕者養成事業

点訳・音訳奉仕者養成講座を、6月から3月まで各30回開催した。その結果、点訳9名、音訳7名が修了し、当館奉仕員として登録することができた。

なお、修了生は今後2年次研修を行い、資質(技術)の向上に努めていく。平成27年度は点訳8回、音訳10回の開催であった。

- ・即時情報ネットワーク事業

日本盲人連合会が提供する毎日の新しい情報を、点字版で7名、延べ1,614名に、電子メールで12名、延べ2,868名に提供した。

- ・声の広報等発行事業

録音版の「県議会だより」を年4回、「県政だより」を年6回製作し、県議会だよりを延べ603部、県政だより「あきたびじょん」を延べ840部発行した。利用実人員は、290人である。

## ○会議等の開催

- ・ボランティアグループ代表者会議(4月)
- ・点訳奉仕者研修会

- ・奉仕者表彰式（11月）（理事長感謝状1名 館長表彰感謝状7名 館長表彰奉仕活動記念賞18名）
- ・利用者、職員、製作ボランティア、苦情解決委員及び開催地行政担当者との懇談会
  - 6月：秋田市 参加利用者 14名（付添者3名含む）
  - 9月：能代市 参加利用者 14名（付添者5名含む）
- ・平成27年度の苦情（相談等）は無く、3月の苦情解決委員会報告会でその旨を報告した。

## ○地域貢献等

- ・「中学生の職場体験」を1回（生徒3名）受け入れ、貸出・蔵書管理体験を実施した。
- ・夏休みの親子での点字図書館見学（見学者14組34名）、小学校からの点字図書館見学と点字体験学習（児童53名、教師2名）、盲学校からの点字図書館見学（生徒2名、教師2名）に対応し、点字への関心を深めてもらった。
- ・県立盲学校高等部生徒（1名）のインターンシップの受け入れを行い、点字図書館の業務体験を行った。他、随時の見学に対応して地域社会との交流を図った。
- ・小学校からの要請により、点字学習にボランティアを講師として派遣した（秋田市2校、鹿角市1校2回 延べ6名）。また市町村の声の広報発行に携わっているボランティアの勉強会に講師を派遣した（北秋田市、三種町、由利本荘市4件 延べ5名）。
- ・学校、団体等の依頼により、点字器（8件200台）点字本等（4件23冊）を貸し出した。

## ○選挙公報等への協力

- ・国、地方自治体からの選挙公報等の点訳・音訳の依頼があった場合は、ボランティアへ協力を要請し点訳版、音訳版製作を行う体制を採っている。国政選挙の場合は全国の他館と共同での作業となるが、地方選挙の場合は内容を吟味し協議を重ねた。

## ○経費の節減

指定管理施設であることを自覚し、毎月の職員会議において光熱水費等の使用状況を周知した。平成27年度途中からは空調機器が変更になっており、これまでの燃料費との比較に注視している。

## 平成27年度の図書受入状況

平成27年4月～平成28年3月

| 区分<br>受入先 | 点字図書 |     | テープ録音図書 |    | デジター録音 |     | テキストデジター |    | タイトル<br>構成比 |
|-----------|------|-----|---------|----|--------|-----|----------|----|-------------|
|           | タイトル | 冊数  | タイトル    | 巻数 | タイトル   | 枚数  | タイトル     | 枚数 |             |
| 厚労省委託     | 62   | 173 | 0       | 0  | 83     | 83  | 0        | 0  | 35.45%      |
| 自館製作      | 128  | 491 | 0       | 0  | 110    | 110 | 13       | 13 | 61.37%      |
| 複製        | 0    | 0   | 0       | 0  | 0      | 0   | 0        | 0  | 0.00%       |
| 購入        | 0    | 0   | 0       | 0  | 0      | 0   | 0        | 0  | 0.00%       |
| 寄贈        | 3    | 14  | 0       | 0  | 10     | 10  | 0        | 0  | 3.18%       |
| 計         | 193  | 678 | 0       | 0  | 203    | 203 | 13       | 13 | 100.0%      |

## 平成27年度の分類別貸出状況

平成27年4月～平成28年3月

| 区分<br>受入 | 点字図書 (含、FD) |       | 録音図書 (テープ) |       | 音声デジター (CD) |       | テキストデジター (CD) |    | 合計    |        | タイトル<br>構成比 |
|----------|-------------|-------|------------|-------|-------------|-------|---------------|----|-------|--------|-------------|
|          | タイトル        | 冊数    | タイトル       | 巻数    | タイトル        | 枚数    | タイトル          | 枚数 | タイトル数 | 冊(巻)数  |             |
| 0 総記     | 3           | 11    | 1          | 6     | 30          | 30    | 0             | 0  | 34    | 47     | 0.5%        |
| 1 哲学     | 29          | 86    | 23         | 124   | 138         | 138   | 0             | 0  | 190   | 348    | 2.6%        |
| 2 歴史     | 17          | 66    | 33         | 290   | 170         | 170   | 0             | 0  | 220   | 526    | 3.0%        |
| 3 社会科学   | 23          | 91    | 41         | 282   | 175         | 176   | 0             | 0  | 239   | 549    | 3.2%        |
| 4 自然科学   | 33          | 113   | 20         | 133   | 181         | 181   | 0             | 0  | 234   | 427    | 3.2%        |
| 5 工学     | 3           | 9     | 18         | 105   | 39          | 39    | 0             | 0  | 60    | 153    | 0.8%        |
| 6 産業     | 4           | 20    | 2          | 20    | 27          | 27    | 0             | 0  | 33    | 67     | 0.4%        |
| 7 芸術     | 9           | 27    | 17         | 143   | 125         | 126   | 0             | 0  | 151   | 296    | 2.0%        |
| 8 語学     | 3           | 8     | 3          | 13    | 23          | 23    | 0             | 0  | 29    | 44     | 0.4%        |
| 9 文学     | 428         | 2,101 | 495        | 4,111 | 5,286       | 5,307 | 0             | 0  | 6,209 | 11,519 | 83.9%       |
| 合計       | 552         | 2,532 | 653        | 5,227 | 6,194       | 6,217 | 0             | 0  | 7,399 | 13,976 | 100.0%      |